

官報

號外 昭和七年九月三日

○第六十五回 帝國議會 貴族院議事速記錄第八號

昭和七年九月二日(金曜日)午前十時二十二分開議

昭和七年九月二日

午前十時開議

第一 不動產融資及損失補償法案(政

府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 昭和七年法律第六號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 商業組合法案(政府提出、衆議院送付)

第四 商品券取締法案(政府提出、衆議院送付)

第五 山村住民救濟ニ關スル請願(文書表第五十號)

第六 傷痍軍人待遇改善ノ請願(會議)

第七 中小商工業者救濟ノ請願(文書表第六十號)

第八 山村住民救濟ニ關スル請願(文書表第六十號)

第九 北海道千歳村ニ飛行場設置ノ請願(會議)

第十 能登鐵道株式會社敷設鐵道買收會

○副議長(公爵近衛文麿君) 書記官ヲシテ
報告ヲ致セマス
(小林書記官朗讀)

○副議長(公爵近衛文麿君) 書記官ヲシテ
報告ヲ受領セ
昨日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セ
リ

不動產融資及損失補償法案
昭和七年法律第六號中改正法律案
商業組合法案
商品券取締法案
金錢債務臨時調停法案
農村負債整理組合法案
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
請願委員會特別報告第三號
同日米穀需給調節特別會計法中改正法律案
特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
氏名左ノ如シ

委員長 公爵山縣 有道君
副委員長 子爵井上匡四郎君
本日製絲業法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵松岡 均平君
是ヨリ本日ノ会議ヲ開キマス、此際諸君ニシテ御異議ガナケレバ、日程ヲ變更シテ衆議院ヨリ送付ニナリマシタ農村負債整理法案ヲ上程シタルト考ヘマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 農村負債整理組合法案(公爵近衛文麿君) 農村負債整理組合法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
農村後藤農林大臣
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因
チ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年九月一日

貴族院議長公爵德川家達殿 清

(小字及ハ衆議院修正)
農村負債整理組合法案
第一章 負債整理組合

第一條 負債整理組合ハ隣保共助ニ依リ組合員タル農業者、漁業者又ハ林業者ノ負債ヲ整理シ其ノ經濟ノ更生ヲ圖ルヲ以テ目的トス

前項ノ負債ハ私法上ノ金錢債務ニシテ組合設立前ニ生ジタルモノニ限ル

第二條 負債整理組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ樹立

二 組合員タル債務者及其ノ債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ幹旋

三 組合員ニ對スル負債整理資金ノ貸付
四 前各號ニ掲タルモノノ外組合員ノ負債整理ニ必要ナル事業

前項第二號ノ幹旋ニ依リ協定成ラザルトキハ負債整理組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村負債整理委員會ニ對シ其ノ協定ノ幹旋ヲ請求スルコトヲ得前項ノ事業ヲ行フ信用組合及命令ヲ以テ定ムル法人ニ付亦同ジ

ムニ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第三條 組合員ガ負債整理ノ爲其ノ所有地ヲ處分スル場合ニ於テ組合員タル小作人其ノ他ノ者ガ其ノ土地ヲ購入セントルトキハ負債整理組合ハ土地購入資金ノ貸付ヲ爲スコトヲ得

第四條 負債整理組合ハ法人トス

第五條 負債整理組合ハ一定ノ地區内ニ居住スル者ヲ以テ之ヲ組織ス

前項ノ地區ハ部落其ノ他ニ準ズル區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ町村ノ區域ニ依ルコトヲ得

第六條 出資一口ロ金額ハ金十圓トス
組合員ハ負債整理組合ヨリ借入ル金額ノ二十分ノ一以上ノ出資ヲ爲シ借入ノトキハ全額ヲ拂込ムモノトス但シ十圓未滿ノ端數ハ之ヲ切上グ

第七條 負債整理組合ヲ設立セントスルトキハ設立者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ設立ノ認可ヲ申請スベシ前項ノ認可申請ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ三年間トス

第八條 負債整理組合設立申請書ニハ組合員ノ加入ノ氏名及住所ヲ記載シタル原簿ヲ添附スベシ

ニハ各組合員ノ氏名及住所ヲ記載シタル組合員ノ加入ニ因ル變更登記ノ申請書ニハ組合員ノ加入者ノ氏名及住所ヲ記載シタル組合員ノ加入ニ因ル變更登記ノ申請書ニハ組合員名簿ヲ添附スベシ

無限責任ノ組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所ノ加入者ノ氏名及住所ヲ記載シタル所ヲ、保證責任ノ組合ニ在リテハ加入者ノ組合員名簿ヲ添附スベシ

氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ添附スベシ

産業組合法第十六條ノ四第一項、第十六條ノ添附スベシ

産業組合法第十六條ノ四第一項、第十六條ノ添附スベシ

ノ六第一項ノ規定ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

農林大臣ニ御願ヲ致シマシテ、政府當局ガ此農村ノ負債整理ニ付テ真剣ニ御調査ヲ下サッテ、議會直後ニ大藏大臣ト協議ヲシテ、此負債整理ノ實ヲ擧ゲルト云フコトノ御言明ニ對シテハ私ハ頗る敬意ヲ拂ヒ、必ズヤ近キ將來ニ於テ農村ノ負債ノ整理ノ實ヲ必ズ擧ゲテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ御願ヲ致シテ置イタノデアリマス、ソコデ愈、今議會ニ於キマシテ、約二年ノ間農林當局ニ於テハ、此農村負債整理問題ト云フコトニアリ、誠意ヲ持テ、必ズ此負債整理組合法案ナルモノヲ御提出ニナルダラウト云フコトヲ私ハ豫期シテ居タノデアリマス、所方愈、此今議會ニ御提出ニナツタ所ノ農村負債整理組合法案ヲ見マスルト云フト、私ハ實ニ豫期ニ反シテ非常ニ私ハ落膽ヲ致シタノデアリマス、其落膽シタル所ノ所以ハ、先程モ申上ゲマシタ通リニ、此政府原案ノ農村負債整理組合法案ハ、唯條文ヲ羅列シタダケノモノデアリマシテ、如何ニシテ農村ノ負債ヲ整理スルカト云フ所ノ重點ヲ外レテ居ルノデアリマス、先程カラモ申上ゲマシタ通リニ、各位モ御承知ノ通り此農村負債ト云フコトハ、現今ノ社會問題トシテ私ハ非常ニ重大ナル所ノ問題デアルダラウト私ハ思ヒマス、政府ハ今議會ニ於キマシテハ此農村ノ疲弊ト云フコトヲ痛感サレシテ、非常対策トシテ、追加豫算トシテ莫大ノ金ヲ計上サレテ、農村ノ土木事業ト云フモ前田子爵カラ御話ガアリマシタ通り、普通土木事業、並ニ農村ノ土木事業ト云フ莫大ナル金ヲ使テ、農村ノ救濟ヲシテハ昨日モ前田子爵カラ御話ガアリマス、政府ハ今議會ニ於キマシテモ苦シメラレテ居ルコトデアリマス、從テ農村ノ公租公課ヲ輕減スル意思ハナイ

カ、或ハ此負債整理ニ對シテモ御質問ガアリマシタ、或ハ主要農産物ノ統制ト云フコトニ對シテモ御質問ガアリマシタ、是等ノ明ニ對シテハ私ハ頗る敬意ヲ拂ヒ、必ズヤ近キ將來ニ於テ農村ノ負債ノ整理ノ實ヲ必ズ擧ゲテ戴キタイト云フコトヲ云フコトニアリ、御質問ヲ申上ゲル迄モナクヲ致シテ、御承知ノ通り私ガ申上ゲル迄モナクトニ對シテモ御質問ガアリマス、大臣ノ御職掌柄御忙近キ將來ニ於テ農村ノ負債ノ整理ノ實ヲ必ズ擧ゲテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ御願ヲ致シテ置イタノデアリマス、ソコデ愈、今議會ニ於キマシテ、約二年ノ間農林當局ニ於テハ、此農村負債整理問題ト云フコトニアリ、誠意ヲ持テ、必ズ此負債整理組合法案ナルモノヲ御提出ニナルダラウト云フコトヲ私ハ豫期シテ居タノデアリマス、所方愈、此今議會ニ御提出ニナツタ所ノ農村負債整理組合法案ヲ見マスルト云フト、私ハ實ニ豫期ニ反シテ非常ニ私ハ落膽ヲ致シタノデアリマス、其落膽シタル所ノ所以ハ、先程モ申上ゲマシタ通リニ、此政府原案ノ農村負債整理組合法案ハ、唯條文ヲ羅列シタダケノモノデアリマシテ、如何ニシテ農村ノ負債ヲ整理スルカト云フ所ノ重點ヲ外レテ居ルノデアリマス、先程カラモ申上ゲマシタ通リニ、各位モ御承知ノ通り此農村負債ト云フコトハ、現今ノ社會問題トシテ私ハ非常ニ重大ナル所ノ問題デアルダラウト私ハ思ヒマス、政府ハ今議會ニ於キマシテハ此農村ノ疲弊ト云フコトヲ痛感サレシテ、非常対策トシテ、追加豫算トシテ莫大ノ金ヲ計上サレテ、農村ノ土木事業ト云フモ前田子爵カラ御話ガアリマス、政府ハ今議會ニ於キマシテモ苦シメラレテ居ルコトデアリマス、從テ農村ノ公租公課ヲ輕減スル意思ハナイ

カ、或ハ此負債整理ニ對シテモ御質問ガアリマス、私ハ御質問ノアツタ時ニ、政府當局ハ今回ハ根本對策ニ觸レス、併シ根本對策ニ觸レナイト云フモノノ、根本對策モ無イデハナイ、其無イデハナイト云フコトガ、此農村負債整理組合法案ヲ提出サレタト云フコトヲ以テ言ヒ遁レテ居ラレルノデアリマス、私ハ政府ニ於テ本當ニ農村ヲ救濟スルト云フ所ノ眞實ノ誠意ガアルナラバ、此非常時農村ノ救濟對策トシテハ、此農村負債整理組合法案ダケモ私ハ結構ダト思フ、是ダケナイ、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ヲ整理ヲシテヤラウト云フコトデアツナラバ、政府ニソレダケノ誠意ガアツナラバ、私ハ農村ハは私ハ浮上ルト思フノデアリマス、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ノ利子ダケモ大變デアリマス、政府ヨリ御貸付ニナツテ居ル所ノ低利資金、是ハ利息ハ安いノデアリマスルケレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハカリデ、少シモ何億、何十万ノ低利資金ヲ利子ヲ付テ、私ハ非常ナ疑義ヲ持タノデアリマス、其莫大ナル金ヲ計上サレテ、農村ノ救濟ヲシテハ昨日モ前田子爵カラ御話ガアリマス、政府ハ今議會ニ於キマシテモ苦シメラレテ居ルコトデアリマス、從テ農村ノ公租公課ヲ輕減スル意思ハナイ

カ、或ハ此負債整理ニ對シテモ御質問ガアリマス、私ハ御質問ノアツタ時ニ、政府當局ハ今回ハ根本對策ニ觸レス、併シ根本對策ニ觸レナイト云フモノノ、根本對策モ無イデハナイ、其無イデハナイト云フコトガ、此農村負債整理組合法案ヲ提出サレタト云フコトヲ以テ言ヒ遁レテ居ラレルノデアリマス、私ハ政府ニ於テ本當ニ農村ヲ救濟スルト云フ所ノ眞實ノ誠意ガアルナラバ、此非常時農村ノ救濟對策トシテハ、此農村負債整理組合法案ダケモ私ハ結構ダト思フ、是ダケナイ、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ヲ整理ヲシテヤラウト云フコトデアツナラバ、政府ニソレダケノ誠意ガアツナラバ、私ハ農村ハは私ハ浮上ルト思フノデアリマス、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ノ利子ダケモ大變デアリマス、政府ヨリ御貸付ニナツテ居ル所ノ低利資金、是ハ利息ハ安いノデアリマスルケレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハカリデ、少シモ何億、何十万ノ低利資金ヲ利子ヲ付テ、私ハ非常ナ疑義ヲ持タノデアリマス、其莫大ナル金ヲ計上サレテ、農村ノ救濟ヲシテハ昨日モ前田子爵カラ御話ガアリマス、政府ハ今議會ニ於キマシテモ苦シメラレテ居ルコトデアリマス、從テ農村ノ公租公課ヲ輕減スル意思ハナイ

カ、或ハ此負債整理ニ對シテモ御質問ガアリマス、私ハ御質問ノアツタ時ニ、政府當局ハ今回ハ根本對策ニ觸レス、併シ根本對策ニ觸レナイト云フモノノ、根本對策モ無イデハナイ、其無イデハナイト云フコトガ、此農村負債整理組合法案ヲ提出サレタト云フコトヲ以テ言ヒ遁レテ居ラレルノデアリマス、私ハ政府ニ於テ本當ニ農村ヲ救濟スルト云フ所ノ眞實ノ誠意ガアルナラバ、此非常時農村ノ救濟對策トシテハ、此農村負債整理組合法案ダケモ私ハ結構ダト思フ、是ダケナイ、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ヲ整理ヲシテヤラウト云フコトデアツナラバ、政府ニソレダケノ誠意ガアツナラバ、私ハ農村ハは私ハ浮上ルト思フノデアリマス、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ノ利子ダケモ大變デアリマス、政府ヨリ御貸付ニナツテ居ル所ノ低利資金、是ハ利息ハ安いノデアリマスルケレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハカリデ、少シモ何億、何十万ノ低利資金ヲ利子ヲ付テ、私ハ非常ナ疑義ヲ持タノデアリマス、其莫大ナル金ヲ計上サレテ、農村ノ救濟ヲシテハ昨日モ前田子爵カラ御話ガアリマス、政府ハ今議會ニ於キマシテモ苦シメラレテ居ルコトデアリマス、從テ農村ノ公租公課ヲ輕減スル意思ハナイ

カ、或ハ此負債整理ニ對シテモ御質問ガアリマス、私ハ御質問ノアツタ時ニ、政府當局ハ今回ハ根本對策ニ觸レス、併シ根本對策ニ觸レナイト云フモノノ、根本對策モ無イデハナイ、其無イデハナイト云フコトガ、此農村負債整理組合法案ヲ提出サレタト云フコトヲ以テ言ヒ遁レテ居ラレルノデアリマス、私ハ政府ニ於テ本當ニ農村ヲ救濟スルト云フ所ノ眞實ノ誠意ガアルナラバ、此非常時農村ノ救濟對策トシテハ、此農村負債整理組合法案ダケモ私ハ結構ダト思フ、是ダケナイ、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ヲ整理ヲシテヤラウト云フコトデアツナラバ、政府ニソレダケノ誠意ガアツナラバ、私ハ農村ハは私ハ浮上ルト思フノデアリマス、本當ニ眞實ニ農村ノ負債ノ利子ダケモ大變デアリマス、政府ヨリ御貸付ニナツテ居ル所ノ低利資金、是ハ利息ハ安いノデアリマスルケレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハレドモ、農村ニ於キマシテハ此低利資金ハカリデ、少シモ何億、何十万ノ低利資金ヲ利子ヲ付テ、私ハ非常ナ疑義ヲ持タノデアリマス、其莫大ナル金ヲ計上サレテ、農村ノ救濟ヲシテハ昨日モ前田子爵カラ御話ガアリマス、政府ハ今議會ニ於キマシテモ苦シメラレテ居ルコトデアリマス、從テ農村ノ公租公課ヲ輕減スル意思ハナイ

リマス、今度政府ニ於テ應急對策トシテ農村土木事業ヲ計畫サレテ居ルガ、而シテ其農村土木事業ハ土木請負業者ニハ請負ハセント云フ話デアルガ、サウ云フコトガ實際ニ出來ルデセウカ、總テ農民ヲ使フト言テ居ラレルガ、サウ云フコトガ出來ルデセウカト云フコトヲ私ハ主任ノ技師ノ御方ニ伺タ、所ガサウ云フコトハ到底出來マセヌ、ノミナラズ今日マデノ用排水ノ事業ダケデモ年度ヲ繰越スコトガ非常ナモノ、昨日モ前田子爵カラ其御話ガアリマシタ、而シテ今度ノ應急豫算ヲ七箇月ノ間ニ莫大ナ金ヲ使フト云フコトニ對シテハ、今日マデモ非常ナ弊害ガ起シタガ、今日マデ所ノ弊害デヤナイ、非常ナ弊害ガ起ルダラウト思ヒマス、ノミナラズ七箇月ノ間ニ消化ガ出来ナイノデ、總テは長年月ニ繰越スコトニナルダラウト思ヒマスト云フコトヲ言ッテ居ラレタノデアリマス、是ガ私ハ本當ダラウト思フ、ソコデ先程モ申上げマシタ通來ナイノデ、假ニ政府ガ計畫サレタ所ノ事業ガ此七箇月ノ間ニ消化サレテモ、農家一戸ニ對シテハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、ノミナラズ實情ニ於テハ二十圓潤フドコロカ、私ハ繰越シテ十圓ニモナラナイダラウト思フ、十圓ニナレバマダ結構、目覺メタル所ノ農村ニ於キマシテハ、政府ニ於テ補助金ヲ吳レテ、四分ノ一ダケハ農村ガ負擔スル、ソレモ今日ニ於テハ負擔モ出來ナイダラウカラ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村デ土木事業ナリ、農村土木事業ヲ起セト云フコトヲ縣廳カラ御達シガアツタ、ソコデ昨日モ前田子爵カラ御話ノアツタ通りニ、地方ニ於テハ其爲ニ醜運動ガ起シタ、所ガ目覺メタル所ノ農村デヘ、私ノ聞キ及シダ所ニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテ戴イテ事業ヲシロト云フコトハ誠ニ有リ難イ、有リ難イケレドモ、今日ニ於テハ農村ハ莫大ナ負債ヲ持テ居ル、政府カラ貸シテ戴ク

低利資金ハ利息ハ安イガ、鬼ニ角低利資金ヲ貸シテ戴イテモ、又借金ニナリマス、非常ニスト云フ話デアルガ、サウ云フコトガ實際ニ出來ルデセウカ、總テ農民ヲ使フト言テ居ラレルガ、サウ云フコトガ出來ルデセウカト云フコトヲ私ハ主任ノ技師ノ御方ニ伺タ、所ガサウ云フコトハ到底出來マセヌ、ノミナラズ今日マデノ用排水ノ事業ダケデモ年度ヲ繰越スコトガ非常ナモノ、昨日モ前田子爵カラ其御話ガアリマシタ、而シテ今度ノ應急豫算ヲ七箇月ノ間ニ莫大ナ金ヲ使フト云フコトニ對シテハ、今日マデモ非常ナ弊害ガ起シタガ、今日マデ所ノ弊害デヤナイ、非常ナ弊害ガ起ルダラウト思ヒマス、ノミナラズ七箇月ノ間ニ消化ガ出来ナイノデ、總テは長年月ニ繰越スコトニナルダラウト思ヒマスト云フコトヲ言ッテ居ラレタノデアリマス、是ガ私ハ本當ダラウト思フ、ソコデ先程モ申上げマシタ通來ナイノデ、假ニ政府ガ計畫サレタ所ノ事業ガ此七箇月ノ間ニ消化サレテモ、農家一戸ニ對シテハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、ノミナラズ實情ニ於テハ二十圓潤フドコロカ、私ハ繰越シテ十圓ニモナラナイダラウト思フ、十圓ニナレバマダ結構、目覺メタル所ノ農村ニ於キマシテハ、政府ニ於テ補助金ヲ吳レテ、四分ノ一ダケハ農村ガ負擔スル、ソレモ今日ニ於テハ負擔モ出來ナイダラウカラ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村デ土木事業ナリ、農村土木事業ヲ起セト云フコトヲ縣廳カラ御達シガアツタ、ソコデ昨日モ前田子爵カラ御話ノアツタ通りニ、地方ニ於テハ其爲ニ醜運動ガ起シタ、所ガ目覺メタル所ノ農村デヘ、私ノ聞キ及シダ所ニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテ戴イテ事業ヲシロト云フコトハ誠ニ有リ難イ、有リ難イケレドモ、今日ニ於テハ農村ハ莫大ナ負債ヲ持テ居ル、政府カラ貸シテ戴ク

低利資金ハ利息ハ安イガ、鬼ニ角低利資金ヲ貸シテ戴イテモ、又借金ニナリマス、非常ニスト云フ話デアルガ、サウ云フコトガ實際ニ出來ルデセウカ、總テ農民ヲ使フト言テ居ラレタノデアリマス、是ガ私ハ本當ダラウト思フ、ソコデ先程モ申上げマシタ通來ナイノデ、假ニ政府ガ計畫サレタ所ノ事業ガ此七箇月ノ間ニ消化サレテモ、農家一戸ニ對シテハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、ノミナラズ實情ニ於テハ二十圓潤フドコロカ、私ハ繰越シテ十圓ニモナラナイダラウト思フ、十圓ニナレバマダ結構、目覺メタル所ノ農村ニ於キマシテハ、政府ニ於テ補助金ヲ吳レテ、四分ノ一ダケハ農村ガ負擔スル、ソレモ今日ニ於テハ負擔モ出來ナイダラウカラ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村デ土木事業ナリ、農村土木事業ヲ起セト云フコトヲ縣廳カラ御達シガアツタ、ソコデ昨日モ前田子爵カラ御話ノアツタ通りニ、地方ニ於テハ其爲ニ醜運動ガ起シタ、所ガ目覺メタル所ノ農村デヘ、私ノ聞キ及シダ所ニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテ戴イテ事業ヲシロト云フコトハ誠ニ有リ難イ、有リ難イケレドモ、今日ニ於テハ農村ハ莫大ナ負債ヲ持テ居ル、政府カラ貸シテ戴ク

ハ絕對ニ出來ナイト思ヒマス、私ハ此農村負債整理組合法案ニ付キマシテモ、非常ニ斯ムルニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村ニ於テハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、是ガ私ハ本當ダラウト思フ、ソコデ先程モ申上げマシタ通來ナイノデ、假ニ政府ガ計畫サレタ所ノ事業ガ此七箇月ノ間ニ消化サレテモ、農家一戸ニ對シテハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、ノミナラズ實情ニ於テハ二十圓潤フドコロカ、私ハ繰越シテ十圓ニモナラナイダラウト思フ、十圓ニナレバマダ結構、目覺メタル所ノ農村ニ於キマシテハ、政府ニ於テ補助金ヲ吳レテ、四分ノ一ダケハ農村ガ負擔スル、ソレモ今日ニ於テハ負擔モ出來ナイダラウカラ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村デ土木事業ナリ、農村土木事業ヲ起セト云フコトヲ縣廳カラ御達シガアツタ、ソコデ昨日モ前田子爵カラ御話ノアツタ通りニ、地方ニ於テハ其爲ニ醜運動ガ起シタ、所ガ目覺メタル所ノ農村デヘ、私ノ聞キ及シダ所ニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテ戴イテ事業ヲシロト云フコトハ誠ニ有リ難イ、有リ難イケレドモ、今日ニ於テハ農村ハ莫大ナ負債ヲ持テ居ル、政府カラ貸シテ戴ク

ハ絕對ニ出來ナイト思ヒマス、私ハ此農村負債整理組合法案ニ付キマシテモ、非常ニ斯ムルニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村ニ於テハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、是ガ私ハ本當ダラウト思フ、ソコデ先程モ申上げマシタ通來ナイノデ、假ニ政府ガ計畫サレタ所ノ事業ガ此七箇月ノ間ニ消化サレテモ、農家一戸ニ對シテハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、ノミナラズ實情ニ於テハ二十圓潤フドコロカ、私ハ繰越シテ十圓ニモナラナイダラウト思フ、十圓ニナレバマダ結構、目覺メタル所ノ農村ニ於キマシテハ、政府ニ於テ補助金ヲ吳レテ、四分ノ一ダケハ農村ガ負擔スル、ソレモ今日ニ於テハ負擔モ出來ナイダラウカラ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村デ土木事業ナリ、農村土木事業ヲ起セト云フコトヲ縣廳カラ御達シガアツタ、ソコデ昨日モ前田子爵カラ御話ノアツタ通りニ、地方ニ於テハ其爲ニ醜運動ガ起シタ、所ガ目覺メタル所ノ農村デヘ、私ノ聞キ及シダ所ニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテ戴イテ事業ヲシロト云フコトハ誠ニ有リ難イ、有リ難イケレドモ、今日ニ於テハ農村ハ莫大ナ負債ヲ持テ居ル、政府カラ貸シテ戴ク

ハ絕對ニ出來ナイト思ヒマス、私ハ此農村負債整理組合法案ニ付キマシテモ、非常ニ斯ムルニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村ニ於テハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、是ガ私ハ本當ダラウト思フ、ソコデ先程モ申上げマシタ通來ナイノデ、假ニ政府ガ計畫サレタ所ノ事業ガ此七箇月ノ間ニ消化サレテモ、農家一戸ニ對シテハ二十圓ヨリ潤ヘナイノデアリマス、ノミナラズ實情ニ於テハ二十圓潤フドコロカ、私ハ繰越シテ十圓ニモナラナイダラウト思フ、十圓ニナレバマダ結構、目覺メタル所ノ農村ニ於キマシテハ、政府ニ於テ補助金ヲ吳レテ、四分ノ一ダケハ農村ガ負擔スル、ソレモ今日ニ於テハ負擔モ出來ナイダラウカラ、政府ガ低利資金ヲ貸シテヤル所ノ農村デ土木事業ナリ、農村土木事業ヲ起セト云フコトヲ縣廳カラ御達シガアツタ、ソコデ昨日モ前田子爵カラ御話ノアツタ通りニ、地方ニ於テハ其爲ニ醜運動ガ起シタ、所ガ目覺メタル所ノ農村デヘ、私ノ聞キ及シダ所ニ於テハ、既ニ縣ニ對シテ断テ來タ所ガアル、政府カラ低利資金ヲ貸シテ戴イテ事業ヲシロト云フコトハ誠ニ有リ難イ、有リ難イケレドモ、今日ニ於テハ農村ハ莫大ナ負債ヲ持テ居ル、政府カラ貸シテ戴ク

スル非常ニ重大ナル所ノ私ハ問題ダト思ヒ
マス、斯ル無責任ナル所ノ此法律案ヲ提示
ヲサレルト云フコトハ私ハ實ニ無責任モ此
上ナイ、甚シイモノダト私ハ思フノデアリ
マス、而シテ其資金ガナカッタナラバ決シ
テ組合ト云フモノハ、常識上考ヘテモ組織
サレナイト云フコトヲ私ハ思ヒマス、又先
程モ申上ゲタ通りニ、農村ノ負債ノ利子ト
云フモノハ非常ニ高イモノデアリマスル
ガ、是ガ非常ニ問題デアリマス、之ヲ資金
ガ供給ガナカッタナラバ是ハ私ハ此負債整
理組合ヲ拵ヘテ相談協議ヲスルナンテ云フ
コトハ、到底出來ナイモノダト私ハ思ヒマ
スガ、政府ノ御考ハドウデアルカ、ソレヲ御
伺シタインデアリマス、尙ホ先程カラモ申上
ゲタ通りニ、政府ノ原案ト云フモノハ誠ニ
不徹底デ、無責任此上ナイモノデアリマシ
テ、此法案ハ協賛サレルニシタ所デ實行ノ
伴ハナイモノデアリマスルカラ、私ハ實ニ
空文ニ等シキ所ノ案デアルト思フノデアリ
マス、從テ政府ハ今日急イデ此負債整理ヲ
シナケレバ無論農村ハ困リマス、困リマス
ガ、コンナ空文ヲ出サレテハ尙ホ困リマス、
從テ完全ナモノニ……少シ時期ハ遅レテモ
完全ナモノヲ御提出ニナツカ私ハ宜イ
ト思ヒマスルカラ、完全ナモノニシテ、之
ヲ撤回サレル所ノ意思ハナイカト云フコト
ヲ私ハ政府ニ御尋ネシタインデアリマス、
何故サウ云フコトヲ私ガ伺フカト云フ
ト、今朝ノ各位モ御承知ノ通り、朝日新聞
ニ斯ウ云フコトガ出テ居リマス、私モ新聞
ニ出ル前ニ外カラ聞キ及シダノデアリマス
ルガ、幸ニ新聞ニ出テ居リマスルカラ、私
ハ此新聞ノ一節ヲ讀ンデ御参考ニ供シタイ
ト思ヒマス、其新聞ノ中ニ此負債整理組合
法案ノ樂屋裏ヲ覗イテ見ルト、當初農林省
ガ負債整理案ノ立案ニ方ナシテ、眞先ニ考ヘタ
ノハ必ズシモ政友案ト同様ノモノデハナ
カタラウガ、資金關係ハ中央金庫デヤルト
云フ案ダッタ、ソレガ高橋藏相ノ容レル所

トナラズ、又三土鐵相ナドモ反對シ、次善
ノ案トシテ府縣ニ對スル國家補償案ダッタ
ガソレモ駄目、議會ニ御見エシタノハ農
林當局ガ最モ氣乗リ薄ダク組合法案一本
タノデアル、擬テ元ニ戻シテ政友會案ニモ
難點ガアル云々、斯ウ云フコトガアリマス、
ソコテ私ハ只今申上ゲタ通りニ農林當局ニ
於テハ五十九議會ノ時ニ於テ色ニ私ガ質問
イタシマシテ、其御答辯ヲ得タ通りニ、眞
劍ニ誠意ヲ以テ農村整理ヲシヤウト云フ御
考ハ少クモ私ハ有タト思フ、故ニ農林事務
ノデナカッタ云フノハ、此新聞紙ニ依フ
當局ニ於テハ、其以後二年間誠心誠意立案
ヲサレテ、其得タ所ノモノハ、今日御提出
ニナタ政府原案ノヤウナ空文ニ等シキモ
テモ分ルノデアリマス、故ニ私ハ政府ニ於
テハ先程モ申上ゲマシタ通り、此空文ニ等
シキモノヲ御引込メニナシテ、成程農村ニ於
テハ是ハ負債整理ガ出來ナイト云フコトハ
非常ニ困リマス、困リマスガ寧ロ完全ナモ
ノヲ時機ガ遅レテモ御出シ下サレタ方ガ農
民ハ非常ニ私ハ喜ブト思フノデアリマス、
思ガナイカト云フコトヲ、私ハ最後ニ御尋
ね致シタイト思フノデアリマス

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登る)

○國務大臣(後藤文夫君) 御質問ニ御答ヘ
致シマス、其前ニ色々御議論ガゴザイマシ
タガ、此負債整理組合法案ヲ以テ農村負債
ノ全部ヲ整理シヤウント居ルノデハナイ
ト云フコトハ先程モ申上ゲタ通りアリマ
ス、農村負債ノ整理ハ唯一箇ノ方法ノミヲ
以テ全部ニ直ニ行ハレルト云フ譯ニハ參り
ヤリ得ルカト云フヤウナコトハ、今マダ
トテ、今朝ノ各モ御承知ノ通り、朝日新聞
ニ全部ヲ整理シヤウントシテ居ルノデハナイ
ト云フコトハ先程モ申上ゲタ通りアリマ
ス、農村負債ノ整理ハ唯一箇ノ方法ノミヲ
バハキリシタ見極メハツキマセヌ、從テ負
債整理組合法ノ此ニ作テ行ク場合ニ、負
債整理資金ヲドウスルカト云フヤウナ
トテ考ヘテ調停モ致シマセウガ、併シ調停
スルニハ整理資金ト云フヨリモ、寧ロ負債
整理償還ヲシヤウトスル人ノ償還能力ノ問
題ナノデアリマス、償還能力ト債權者ノ方
ノ立場トヲ見合セテ、ソコデ償還ノ計畫ガ
立ツノデアリマス、償還ノ計畫ガ立ツテ、茲
ニ負債整理資金ノ必要ナ金額ト云フモノガ
組合ニ於テ割出サレテ來ルダラウト思フノ
デアリマス、ソレカラ空文デハナイカト云
フヤウナ御批評ガアリマシタガ、是ニハ只

ト行ヒマスルコト、或ハ低利金ノ政策、是
等幾多ノ方法ガ相俟テ農村ノ金融ヲ緩和
シ、農村ノ資力ノ状態ヲ改善ヲシテ、是等
ガ色ニナ途カラ此農村ノ人達ノ、負債ノ整
理ガ行ハレテ居ル所ガアルノデゴザイマ
ス、是等ノ負債整理組合ニ依リ、共同ノ力
デノ負債整理、之ニ一つノ基準ヲ與ヘ、便
利ヲ圖ル、サウシテ斯ウ云フヤリ方ガアル
ノダト云フテ、廣ク之ヲナサムトスル者ニ
規矩準備ヲ與ヘルト云フコトハ、此方法ニ
依リ負債ノ整理ヲ促進スル所以デアルト思
フノデアリマス、負債整理組合法案ハ其趣
旨ニ立案サレテ居ルノデアリマス、之ニ資
金ノコトガ書イテナイト云フコトハ、何ニ
モ負債整理組合法案ノ缺點デハナイト思フ
ノデアリマス、併ナガラ負債整理組合法案ハ
出来レバ、自カラ負債ノ整理資金ガ要ルデ
アラウト云フコトハ、無論豫想サレルコト
デアリマス、デ政府ニ於キマシテモ負債整
理組合ニ對シテ低利ナ資金ヲ供給シテヤリ
カ、而シテ政府ガドレダケノ資金ヲ之ニ供
給シテヤリ得ルカ、低利資金ヲ供給シテ
ヤリ得ルカト云フヤウナコトハ、今マダ
資金ノ方ノ必要ノ見極メモ付カズ、其外
預金部等ニ於キマシテモ、各種ノ應急施設
カ、而シテ政府ガドレダケノ資金ヲ之ニ供
給ナガラ今申シマンタヤウナ次第デアリマ
ス、併ナガラ負債整理組合法案ノ缺點デハナ
イト思フノデアリマス、之ニ依リテ出來
ル限リ資金ノ融通ヲ致シマスコトニナリマ
ス、ソレカラ資金ガナケレバ調停等ヲヤ
ル便益ガ生ズルデアラウト思ヒマス、特ニ
立テテ居ル方法デアリマス、之ニ依リテ出來
ル限リ資金ノ融通ヲ致シマスコトニナリマ
ス、ソレカラ資金ガナケレバ調停等ヲヤ
ル便益ガ生ズルデアラウト思ヒマス、特ニ
負債整理組合法ヲ此ニ作テ行ク場合ニ、負
債整理資金ヲドウスルカト云フヤウナ
トテ考ヘテ調停モ致シマセウガ、併シ調停
スルニハ整理資金ト云フヨリモ、寧ロ負債
整理償還ヲシヤウトスル人ノ償還能力ノ問
題ナノデアリマス、償還能力ト債權者ノ方
ノ立場トヲ見合セテ、ソコデ償還ノ計畫ガ
立ツノデアリマス、償還ノ計畫ガ立ツテ、茲
ニ負債整理資金ノ必要ナ金額ト云フモノガ
組合ニ於テ割出サレテ來ルダラウト思フノ
デアリマス、ソレカラ空文デハナイカト云
フヤウナ御批評ガアリマシタガ、是ニハ只

ト思ヒマス、最後ニ新聞ノ記事ヲ御引用ニナリマシテ、政府ハ此政府案ノ儘ノモノハ撤回スルノ意思ガナイカドウカト云フ御話デアリマシタガ、撤回スルノ意思ハゴザイマセヌ、新聞ノ報ジマスル所ヲ土臺ニシテ、私ハ此席ニ議論ヲ致シタクゴザイマセヌ、唯農林省デハ只今出シテ居リマスル案ヲ此場合ニ於ケル各般ノ方面、又國家財政ナゾノ方面、色ニナ所カラ考ヘマシテ、最モ適切デアルト考ヘマシテ、之ヲ政府ノ議トシテ議會ニ提出ヲ致シタ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト存ジマス

○子爵岩城隆徳君 此席カラ御許ヲ願ヒマス、只今私ノ質問ニ對シテ後藤農相カラ御答辯ガアリマシタ、私モ只今農相ガ言ハレマシク如ク、農村ノ今日アル負債ノ五十億内外ト云フモノヲ、全部ヲ此負債整理組合法案ニ依テ解決ガ出來ルト云フヤウナコトハ毛頭私ハ思テ居リマセヌ、唯先程モ申上ダク通リニ、此負債整理組合法案ニ負債整理ニ對スル所ノ資金ト云フモノガナカッタ時ニハ、政府ノ低利資金ニ對スル御緩和ト云フヤウナコトハ、私モ萬々承知イタシテ居リマスルガ、其以外ノ負債ニ對スル利息ガ高イト云フコト、是ハ此高イ利息ヲ輕減スルト云フコトガ私ハ非常ニ重大ナル問題ダト思ヒマス、其高イ利息ヲ輕減ヲスル、其協議ヲスルニモ、或ハ相談ヲスルニモ、政府カラノ負債整理ニ對スル所ノ資金ノ私ハ大小ニ拘ラナイト思フ、免ニ角政府ガ負債整理ニ對シテハ、是ダケノ資金ヲ私ハ預金部ノ今日ノ狀況デハ、莫大デナクトモ私ハ金ガ低利資金ニ貸セルカドウカト云フコトヲ疑テ居ル位ノモノデアリマスカラ、決シテ大小ハ間ヘナイ、兎ニ角今日ニ於テハ政府ハ是レノ資金ヲ此負債整理ニ對シテハ融通シテヤルト云フコトノ御明示ガアタナラベ、私ハ非常ニ農民ハ安心シ、サウシテ此負債整理ノ實ヲ擧ゲルコトガ私ハ出来ルト思フノデアリマス、併シ只今ノ御

告ガゴザイマスカ
○阪本鉄之助君 マダ岩城子爵ノ外ニ御通ス、御許ヲ願ヒマス
○議長(公爵徳川家達君) 通告ガゴザイマス、御許ヲ願ヒマス
○阪本鉄之助君 アリマスカ、ソレデハ終りマシタラチヨット簡単ナコトデゴザイマス、御許ヲ願ヒマス
○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵……
○子爵大河内輝耕君 私此案ニ付テ農林大臣ニ二點バカリ質問イタシタイ、第一點ハ……
○議長(公爵徳川家達君) 登壇ヲ願ヒマス(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)
○子爵大河内輝耕君 其第一點ハ、只今岩城子爵ノ御話ニナリマシタ、是ノ資金ガ必要デアルト云フコトハ一應御尤ダト思ヒマス、ドウシテモ是ハ資金ガナケレバナラヌト思フ、ソレデ又資金ガ必要デアルト云フコトト、政府ガ之ニ對シテ十分ニ出來得ル限リノ援助ヲ與ヘテヤルト云フ方針ヲ示シ、サウ云フ腹ヲ見セルト云フコトハ、是ハ必要ダラウト存ジマス、併シ一方カラ申シマシテ、幾ラ金ヲ出しシテヤルト云フヤウナコトヲ示スト云フコトハデス、是ハ其多クノ債権者ノ中ニハ質ノ惡イ債権者モアリマスシ、有力ナ後援者ガアツテ、幾ラ金ヲ出シテヤルト云フヤウナコトニナレバ、却テ是ハ負債整理ヲスベキモノモ、取レルモノナラモト取テヤラウト云フヤウナコトカラ、却テ弊害ニナリハシナイカ、寧ロ債權者ト話シ合テ、惡イ債権者ハ叩ケルダケ叩イテ置イテ、其上ニ初メテ金ヲ出斯ヤウナコトデモタ方ガ却テ宜イヤウナ考ヘモシマスノデ、決シテ私ハ今ノ御趣旨ニ反對シテ居ルノデハアリマセヌガ、念ノ爲ニ

答辯ニ對シマシテハ、私ハ今日此處ニ於テ反駁ヲ致シマセヌ、又機會ガアリマシタナラバ私ハ農相ニ尙ホ引續イテ伺ヒタイコトガアリマスガ、只今ハ是デ質問ヲ打切ルコトニ致シマス
○阪本鉄之助君 告ガゴザイマスカ
○議長(公爵徳川家達君) 通告ガゴザイマス、御許ヲ願ヒマス
○阪本鉄之助君 アリマスカ、ソレデハ終りマシタラチヨット簡単ナコトデゴザイマス、御許ヲ願ヒマス
○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵……
○子爵大河内輝耕君 私此案ニ付テ農林大臣ニ二點バカリ質問イタシタイ、第一點ハ……
○議長(公爵徳川家達君) 登壇ヲ願ヒマス(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)
○子爵大河内輝耕君 其第一點ハ、只今岩城子爵ノ御話ニナリマシタ、是ノ資金ガ必要デアルト云フコトハ一應御尤ダト思ヒマス、ドウシテモ是ハ資金ガナケレバナラヌト思フ、ソレデ又資金ガ必要デアルト云フコトト、政府ガ之ニ對シテ十分ニ出來得ル限リノ援助ヲ與ヘテヤルト云フ方針ヲ示シ、サウ云フ腹ヲ見セルト云フコトハ、是ハ必要ダラウト存ジマス、併シ一方カラ申シマシテ、幾ラ金ヲ出しシテヤルト云フヤウナコトヲ示スト云フコトハデス、是ハ其多クノ債権者ノ中ニハ質ノ惡イ債権者モアリマスシ、有力ナ後援者ガアツテ、幾ラ金ヲ出シテヤルト云フヤウナコトニナレバ、却テ是ハ負債整理ヲスベキモノモ、取レルモノナラモト取テヤラウト云フヤウナコトカラ、却テ弊害ニナリハシナイカ、寧ロ債權者ト話シ合テ、惡イ債権者ハ叩ケルダケ叩イテ置イテ、其上ニ初メテ金ヲ出斯ヤウナコトデモタ方ガ却テ宜イヤウナ考ヘモシマスノデ、決シテ私ハ今ノ御趣旨ニ反對シテ居ルノデハアリマセヌガ、念ノ爲ニ

答辯ニ對シマシテハ、私ハ今日此處ニ於テ反駁ヲ致シマセヌ、又機會ガアリマシタナラバ私ハ農相ニ尙ホ引續イテ伺ヒタイコトガアリマスガ、只今ハ是デ質問ヲ打切ルコトニ致シマス
○議長(公爵徳川家達君) 通告ガゴザイマス、御許ヲ願ヒマス
○阪本鉄之助君 告ガゴザイマスカ
○議長(公爵徳川家達君) 通告ガゴザイマス、御許ヲ願ヒマス
○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵……
○子爵大河内輝耕君 私此案ニ付テ農林大臣ニ二點バカリ質問イタシタイ、第一點ハ……
○議長(公爵徳川家達君) 登壇ヲ願ヒマス(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)
○子爵大河内輝耕君 其第一點ハ、只今岩城子爵ノ御話ニナリマシタ、是ノ資金ガ必要デアルト云フコトハ一應御尤ダト思ヒマス、ドウシテモ是ハ資金ガナケレバナラヌト思フ、ソレデ又資金ガ必要デアルト云フコトト、政府ガ之ニ對シテ十分ニ出來得ル限リノ援助ヲ與ヘテヤルト云フ方針ヲ示シ、サウ云フ腹ヲ見セルト云フコトハ、是ハ必要ダラウト存ジマス、併シ一方カラ申シマシテ、幾ラ金ヲ出しシテヤルト云フヤウナコトヲ示スト云フコトハデス、是ハ其多クノ債権者ノ中ニハ質ノ惡イ債権者モアリマスシ、有力ナ後援者ガアツテ、幾ラ金ヲ出シテヤルト云フヤウナコトニナレバ、却テ是ハ負債整理ヲスベキモノモ、取レルモノナラモト取テヤラウト云フヤウナコトカラ、却テ弊害ニナリハシナイカ、寧ロ債權者ト話シ合テ、惡イ債権者ハ叩ケルダケ叩イテ置イテ、其上ニ初メテ金ヲ出斯ヤウナコトデモタ方ガ却テ宜イヤウナ考ヘモシマスノデ、決シテ私ハ今ノ御趣旨ニ反對シテ居ルノデハアリマセヌガ、念ノ爲ニ

スレバ國務大臣ハ責任ヲオ持チニナラナケレバナラヌノデアリマスガ、生憎内務大臣ハ今才出デニナラヌノデスガ、商工大臣ハ出デアリマスカラ、商工大臣ハ此案ヲ如何ニ御覽ニナッテ居ルカ、段々御説明ハ農林大臣ガ色ニ御説明ニナッテ居リマスガ、内務大臣ハ此案ヲ場合ニ依テハ商工大臣モ御答辯ニナラナケレバナラヌコトニナッテシマッタ、内務大臣モ實ハ非常ナ責任ヲ御感シニナラナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、内務大臣ノ御答ハ何カノ機會ニ承ハルコトニシテ、差向キ商工大臣ハ此案ヲ如何ニ御覽ニナルカ、又此案ガ只今申シマシタ通リ農村デアルカラ宜イケレドモ、市ノ小借家住ヒノヤウナ人ガ、斯ウ云フ組合ヲ作テヤルト云フコトハ危険千萬デアルト思ヒマスガ、如何ニ商工大臣ハ御覽ニナッテ居ルカト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒタイ

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今阪本君カラ衆議院ノ本案ニ對スル修正ニ付テノ御尋ガゴザイマシタ、只今農林大臣カラ先程御説明ガゴザイマシタ通リニ、此法案ノ適用ヲ各種ノ階級ニ擴充イタシマスルニ付キマシテハ、筋ト致シマシテ別ニ異議ヲ唱ヘルモノデモナイト思ヒマスカラ同意イタシマシク次第デゴザイマス

○阪本彰之助君 意外ナ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、諄イヤウデゴザイマスガ、モウ一應念ノ爲ニ伺テ置キマス、是デ見マスルト、農村ト云フモノハ御承知ノ通り何ト申シテモ安定シテ居ルノデスカラ、其組合ノ農民同志ガスウ云フコトヲスルト云フコトハ、時ニ依テハ餘リ危險デナイカモ知レマセヌガ、都會ノ地ナドニ居リマスル者ノ、假令一年以上其處ニ安定シテ居ル人デアッテモ、ソレガ之ヲ作リマシテ瓦ニ負債ノ責任ヲ負フナドト云フコトハ、偶ニ此法律ノ爲ニ非常ナ有害ヲ催スコトデアリマスガ、商

スレバ國務大臣ハ責任ヲオ持チニナラナケレバナラヌノデアリマスガ、生憎内務大臣ハ今才出デニナラヌノデスガ、商工大臣ハ出デアリマスカラ、商工大臣ハ此案ヲ如何ニ御覽ニナッテ居ルカ、段々御説明ハ農林大臣ガ色ニ御説明ニナッテ居リマスガ、内務大臣ハ此案ヲ場合ニ依テハ商工大臣モ御答辯ニナラナケレバナラヌコトニナッテシマッタ、内務大臣モ實ハ非常ナ責任ヲ御感シニナラナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、内務大臣ハ此案ヲ答ハ何カノ機會ニ承ハルコトニシテ、差向キ商工大臣ハ此案ヲ如何ニ御覽ニナルカ、又此案ガ只今申シマシタ通リ農村デアルカラ宜イケレドモ、市ノ小借家住ヒノヤウナ人ガ、斯ウ云フ組合ヲ作テヤルト云フコトハ危険千萬デアルト思ヒマスガ、如何ニ商工大臣ハ御覽ニナッテ居ルカト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣男爵中島久萬吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今阪本君カラ衆議院ノ本案ニ對スル修正ニ付テノ御尋ガゴザイマシタ、只今農林大臣カラ先程御説明ガゴザイマシタ通リニ、此法案ノ適用ヲ各種ノ階級ニ擴充イタシマスルニ付キマシテハ、筋ト致シマシテ別ニ異議ヲ唱ヘルモノデモナイト思ヒマスカラ同意イタシマシク次第デゴザイマス

○阪本彰之助君 意外ナ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、諄イヤウデゴザイマスガ、モウ一應念ノ爲ニ伺テ置キマス、是デ見マスルト、農村ト云フモノハ御承知ノ通り何ト申シテモ安定シテ居ルノデスカラ、其組合ノ農民同志ガスウ云フコトヲスルト云フコトハ、時ニ依テハ餘リ危險デナイカモ知レマセヌガ、都會ノ地ナドニ居リマスル者ノ、假令一年以上其處ニ安定シテ居ル人デアッテモ、ソレガ之ヲ作リマシテ瓦ニ負債ノ責任ヲ負フナドト云フコトハ、偶ニ此法律ノ爲ニ非常ナ有害ヲ催スコトデアリマスガ、商

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 只今議題ニナッテ居リマス農村負債整理組合法案ハ重要ナル案ト存ジマスノデ、十五名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ希望イタシマス、尙ホ此選舉ハ議長ノ御指名ヲ願ヒタイト存ジマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認ニ御異存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ米穀法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○男爵岩倉道俱君 私ハ議事ノ進行ニ付テ簡単ニ發言イタシタトイ思ヒマス、簡単デゴザイマスカラ此席カラ申上げマス、今日一日ニ會期が盡キマスニ拘ラズ、重要ナル法案ガ續ニ付スル修正ニ付テ居リマス、御質疑ガ熱心ニアルト云フコトハ無論結構ナコトデアリマスガ、同時ニ日程ノ進行ヲ圖ッテ指名ニナリマシテ、後ニ質問ヲ全部一緒ニ私ハ戴キタイト思フ、相成ルベクハ政府ノ説明ヲ聽キマシテ、先ニ特別委員氏名ヲ御指名ニナリマシテ、後ニ質問ヲ全部一緒ニ私ハ戴キマスレバ、議事ノ進行上非常ニ私ハ便宜カト思ヒマスノデ、議長ニ於テ御考慮ニシテ御聽ニナルト云フヤウナ方法ラ採ッテハ決シテ演説ニ依テ半日ノ時間ヲ潰シタトハ考ヘテ居リマセヌ、又豫ネテ各派カラ出マシタ貴族院規則ノ改正ノ委員會ニ於キマシテモ、質疑ハ大約一時間見當ト云フヤウナコトハ話合タコトモアルノデス、是ハ公式ノ此議會デ諸リマシタ時間ノ制限得マシテ、モト申述ベタイコトモ實ハ差控ヘマシテ、約一時間以内ニ終ラセタイトハアリマセヌケレドモ、私モ其邊ハヨク心得マシテ、是モト申述ベタイコトモアルノデス、是ハ自己ハ信ジテ居リマス、無論會期切迫ノ折ニアリマスカラシテ、議事ノ進行ノ敏ナラス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、不動産融資及損失補償法案、第二、昭和七年法律第六號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會堀切大藏政務次官

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、不動産融資及損失補償法案、第二、昭和七年法律第五十四條ニ付託候也

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ付託候也

昭和七年九月一日

貴族院議長 秋田 清

第一條 日本勸業銀行、農工銀行又ハ北海道拓殖銀行(以下融資銀行ト稱ス)ハ銀行ヨリ左ノ方法ニ依ル不動産資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ金融ノ疏通ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ大藏大臣ノ定ム所ニ依リ當該銀行又ハ

七年度追加豫算ノ大要ヲ説明イタシマシタ
際ニ申述ベテ置キマシタ通りデアリマシ
テ、其發行ノ爲ニハ昭和七年法律第六號中
ノ公債發行限度ヲ改正増額スルノ必要ガア
リマス、右ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出シ
タ次第アリマスカラ、何卒御審議ノ上御
協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵東園基光君 只今議題トナフテ居り
マスル日程第一、日程第二ハ、何レモ重要
ナル案ト認メマスルニ依リ、是亦十五名ノ
委員ニ付託セラレ、尙ホ其選舉ハ議長ニ一
任イタシタトイ存ジマス 賛成

○子爵植村家治君 東園子爵ノ動議

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
ニ御異存ゴザイマセメカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗
讀ヲ致セマス

(小林書記官朗讀)

不動産融資及損失補償法案特別委員
候爵細川 護立君 伯爵二荒 芳徳君
子爵青木 信光君 子爵大河内輝耕君
佐藤 三吉君 男爵四條 隆英君
三井清一郎君 塚本 清治君 男爵深尾隆太郎君
男爵小畑太郎君 男爵深尾隆太郎君 加藤政之助君
木村清四郎君 中村圓一郎君 根本祐太郎君
小林嘉平治君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、商業
組合法案、第四、商品券取締法案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會、中島商工大臣
昭和七年九月一日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵徳川家達殿

商業組合法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

第七條 商業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依
リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ課スルコ
トヲ得

第一條 商業者ハ其ノ商業ノ改良發達ヲ
圖ル爲共同ノ施設ヲ爲目的ヲ以テ商
業組合ヲ設立スルコトヲ得但シ特別ノ
事情アルトキハ二種以上ノ商業者ヲ以
テ之ヲ設立スルコトヲ得

前項ノ商業者ノ範圍ニ關シ必要ナル事
項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 商業組合ハ法人トス
第三條 商業組合ハ左ノ事業ヲ行フコト
ヲ得

一 組合員ノ取扱商品ノ仕入、保管、共
同施設

二 組合員ノ營業ニ關スル統制

三 組合員ノ營業ニ關スル指導、研究、
調査其ノ他組合ノ目的ヲ達スルニ必
要ナル施設

組合ハ前項ノ事業ノ外組合員ニ對シ
其ノ營業ニ必要ナル資金ノ貸付又ハ
組合員ノ貯金ノ受入ヲ併セ行フコトヲ
得

第一項ニ掲ゲタル組合ノ施設ハ組合員
ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ組合員ニ
非ザル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ
之ヲ利用セシムルコトヲ得

第四條 商業組合ハ其ノ名稱中ニ商業組
合ナル文字ヲ用フベシ

第五條 商業組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ
商業組合ニ非ザル文字ヲ用フルコトヲ得ズ
コトヲ得

第六條 商業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依
リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ課スルコ
トヲ得

第七條 商業組合定款ノ定ムル所ニ依
リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ課スルコ
トヲ得

第八條 計算スル場合亦同ジ

第九條 計算スル爲必要ト認ムルトキハ行政官廳ハ
商業組合ニ對シ必要ナル施設ヲ命ズル
コトヲ得

第十條 計算スル爲必要ト認ムルトキハ行政官廳ハ
前記ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗
スルコトヲ得ズ

第十一條 本法ニ依リ登記スペキ事項ハ
其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之
ヲ登記スベシ

第十二條 商業組合ヲ設立セントスルト
キハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ニ於テ
組合員タル資格ヲ有スル者ノ過半數ノ
同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他
必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ行政
官廳ノ認可ヲ受クベシ但シ組合員タル
資格ヲ有スル者ノ營業ノ種類二以上ア
ルトキハ各其ノ過半數ノ同意ヲ得ルコ
トヲ要ス

前項ノ同意ヲ得ルコト能ヘザルトキト
難モ特別ノ事由アル場合ニ於テハ行政
官廳ノ認可ヲ受ケ創立總會ヲ招集スル
コトヲ得

第十三條 創立總會ニ於ケル議決及役員
ノ選任ハ設立同意者三分ノ二以上ノ
同意ヲ以テ之ヲ爲ス但シ設立同意者ノ
商業ノ種類二以上アルトキハ各其ノ三
分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十條 設立同意者ハ創立總會ニ於テ
代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ
得但シ設立同意者ニ非ザレバ代理人タ
ルコトヲ得ズ

第十五條 商業組合ノ定款ニハ左ノ事項
ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 地區

四 事務所ノ所在地

五 組合員タル資格ニ關スル規定

六 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

七 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

八 剰餘金ノ處分及損失分擔ニ關スル
規定

九 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

十 組合員ノ權利義務ニ關スル規定

十一 事業及其ノ執行ニ關スル規定

十二 役員ニ關スル規定

十三 會議ニ關スル規定

十四 會計ニ關スル規定

十五 存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定
メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

十六條 商業組合ハ出資ノ第一回ノ拂
込アリタル後二週間以内ニ各事務所ノ
所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第十七條 商業組合ハ出資ノ第一回ノ拂
込アリタル後二週間以内ニ各事務所ノ
所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第十八條 商業組合ハ出資ノ第一回ノ拂
込アリタル後二週間以内ニ各事務所ノ
所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第十九條 組合ニ在リテハ各組合
員ノ氏名又ハ名稱、住所及保證金額

二十條 第十九條ノ組合ニ在リテハ各組合
員ノ氏名又ハ名稱、住所及保證金額

二十一條 第十九條第一號乃至第三號、第七號及
總額

二十二條 事務所

二十三條 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ
總額

二十四條 第十九條ノ組合ニ在リテハ各組合
員ノ氏名又ハ名稱、住所及保證金額

二十五條 設立認可ノ年月日

二十六條 理事及監事ノ氏名及住所

二十七條 前項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタ
ルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項

第三號ニ掲ゲタル事項ニ付テハ毎事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後一月以内ニ登記ヲ爲スコトヲ得
第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スベシ
組合員ノ有スペキ出資口數ハ五十口ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ノ責任ハ第五條ノ規定ニ依ル費用負擔ノ外其ノ出資額ヲ限度トス

第十九條 商業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ノ外一定ノ金額（保證金額）ヲ限度トシテ責任ヲ負擔スルモノトコトヲ得

第二十條 組合員ハ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

理事ガ正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第二十一條 商業組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ創立總會ニ於テ設立同意者ノ中ヨリヨリ之ヲ選任スベシ

特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ組合員又ハ設立同意者ニ非ザル者ヨリヨリ之ヲ選任スベシ
ハ其ノ選任ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依ル役員ノ外定款ノ定

ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得
第二十二條 組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ三分ヲ超エザル範圍内ニ於テ出資口數ニ應ジ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十三條 經費ノ一部ヲ組合員ニ分賦スル商業組合ニ在リテハ其ノ經費ノ收支豫算及分賦收入方法ハ總會ノ議決ヲ經ベシ但シ組合設立當時ノ經費ノ收支豫算及分賦收入方法ハ創立總會ニ於テ之ヲ議決スベシ

前項ノ總會ノ議決ハ總組合員ノ半數以上出席席其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲スペシ但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 組合員タル資格ヲ有スル者ハ正當ノ理由ナクシテ加入ニ困難ナル條件ヲ附シ又ハ其ノ加入ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十五條 組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間前ニ豫告ヲ爲シ商業組合ノ承諾ヲ得タル場合ニハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得

組合ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十六條 行政官廳必要ト認ムルトキハ商業組合ニ對シ經費ノ收支豫算、其ノ分賦收入方法又ハ定款ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

ト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲ガ法令、定款若ハ行政官廳ノ命令ニ違反シタルトキ若ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ行

政官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得
一 總會ノ決議ノ取消
二 役員又ハ清算人ノ解任

三 組合ノ事業ノ停止
四 組合ノ解散

第二十八條 商業組合聯合會ハ所屬ノ商業組合及商業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲之ヲ設立スルコトヲ得
聯合會ハ商業組合又ハ商業組合聯合會ヲ以テ之ヲ組織ス

聯合會ハ法人トス

第二十九條 商業組合聯合會ヲ設立セントルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ所屬ノ各組合及聯合會ニ於テ選任シタル創立委員ヲ以テ創立委員會ヲ開キ定款之ヲ議決スベシ

シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第三十條 創立委員會ニ於ケル議決及役員ノ選任ハ創立委員會ヲ開キ定款之ヲ議決スベシ

シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第三十一條 商業組合聯合會ノ理事及監事ハ監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ聯合會設立當時ノ理事及監事ハ創立委員會ニ於テ之ヲ選任スベシ

用ス

第三十二條 商業組合聯合會ノ理事及監事ハ監事ノ中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

シ

第三十三條 設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スペシ申請書ニハ定款及創立總會、總會又ハ聯合會及組合員トス

創立委員會ノ決議錄、出資ノ總口數ヲ證スル書面、出資ノ第一回ノ拂込アリ

タルコトヲ證スル書面竝ニ理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三十四條 事務所ノ新設、移轉其ノ他人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スペシ但シ合併又ハ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少ニ因ル變更ノ登記ハ理事及監事ノ全員ヨリ之ヲ爲スペシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セズ

出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ登記申請書ニハ前項ニ規定スル書面ノ外本法ニ依リ催告ヲ爲シタルコト及異議ヲ述ペタル債権者アル場合ニ於テハ之ニ對シ辨済ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スペシ

第三十五條 解散ノ登記ハ合併ニ因ル解散ノ場合ニ於テハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員、其ノ他ノ場合ニ於テハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スペシ

シ申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及理事が清算人タラザル場合ニ於テハ申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

シ前條第三項ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ付之ヲ準用ス

商業組合ガ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ行政官廳ノ囑託ニ因リテ

第三十六條 清算結了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スペシ
第三十七條 民法第四十四條第一項、第
四十五條第二項第三項、第四十八條、第
五十五條、第五十二條第二項、第五十
三條乃至第五十五條、第五十九條、第

六十條、第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條、第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條、非訟事件手續法第一百三十八條、第一百三十九條ノ三、第一百四十一條乃至第一百五十一條ノ六、第一百五十四條乃至第一百五十八條、第一百六十五條、第一百七十五條、第一百七十六條及第一百七十八條竝ニ産業組合法第五條、第六條、第十條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第二十四條、第二十六條乃至第三十一條ノ二、第三十三條、第三十四條ノ二第二項、第三十五條乃至第三十七條、第三十八條ノ一乃至第四十六條、第四十八條、第五十一條乃至第五十八條、第六十條、第六十一條ノ二、第六十二條第一項第四號ヲ除ク)、第六十三條第一項、第六十三條ノ二乃至第六十五條、第六六條第一項、第六十七條、第六十八條、第六十九條乃至第七十三條ノ三、第七十四條第一項、第七十四條ノ二第一項、第七十七條第三項、第七十八條、第九十六條、第九十七條及第一百四條ノ規定ハ商業組合ニ付之ヲ準用ス但シ民法第一週間トアルハ之ヲ二週間トシ産業組合法中主務大臣、地方長官又ハ監督官廳トアルハ之ヲ行政官廳トス

百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三 行政官廳又ハ總會若ハ總代會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隠蔽シタルトキ

四 本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ其ノ他行政官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハゼルトキ

五 本法ニ依ル總會又ハ總代會ノ招集ヲ怠リタルトキ

六 本法ニ依リ事務所ニ備置クベキ書類ヲ備ヘザルトキ、其ノ書類ニ記載スペキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

七 本法ニ違反シテ組合員ノ持分ヲ拂戾シタルトキ

八 本法ニ違反シテ組合ガ組合員ノ持分ヲ受ケタルトキ

九 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ

十 本法ニ違反シテ出資一口ノ金額若ハ保證金額ヲ減少シ、第三十七條ノ規定ニ依リ準用シタル産業組合法第五十八條ノ責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併ヲ爲シタルトキ

十一 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

十二 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨済ヲ爲シ又ハ組合財產ノ分配ヲ爲シタルトキ

十三 法令又ハ定款ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ

十四 組合ノ目的ニ非ザル營利事業ヲ爲シタルトキ

第十九條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第五十條 前條第一項ニ掲ゲタル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第四十六條 第四十三條ニ掲ゲタル罪ハ刑法第三條ノ例ニ、第四十四條ニ掲ゲタル罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

第四十一條 第九條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第一百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム本法施行ノ際商業組合ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ商業組合ナル文字ヲ用フルモノハルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲ゲタルモノニ適用セズ

第四十二條 前條ノ罰則ハ商業者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十三條 商業組合ノ證票若ハ検査證ヲ不正ニ使用シタル者、行使ノ目的ヲ以テ證票若ハ検査證ヲ偽造若ハ變造シタル者又ハ偽造若ハ變造ノ證票若ハ検査證ヲ使用シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十四條 商業組合ノ理事、監事若ハ清算人又ハ検查員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行為ヲ爲シ又ハ相當ノ行為ヲ爲サザリ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

第五十條 前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

商品券取締法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年九月一日

(小字ハ衆議院議長公爵徳川家達殿
貴族院議長公爵徳川家達殿
清)

商品券取締法案

商品券取締法案

第一條 商品券ヲ發行スル者ハ命令ノ定期ム所ニ依リ毎年二回ノ一定日現在ニ於ケル商品券發行額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スベシ但シ商品券發行額ガ命令ノ定期ム所ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ商品券發行額ハ商品券ノ引換未

第一條 商品券ノ所有者ハ商品券ノ引換未済ノ金額ヲ限度トシテ前條ノ供託物ニ付他ノ債権者ニ先チ辨済ヲ受クルノ権利ヲ有ス

前項ノ権利ノ實行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 前二條ノ商品券ハ券面ニ金額ヲ表示シタルモノニ限ル

第四條 主務大臣ハ商品券ノ發行ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ商品券ノ發行者ニ對シ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシムレ帳簿其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條 商品券ノ發行者第一條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 正當ノ理由ナクシテ第五條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ同條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨げ若ハ忌避シタル者

第八條 商品券ノ發行者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ營業ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ之ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第九條 本法ニ依リ商品券ノ發行者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ商品券ヲ發行スル者ハ

ニ於ケル供託ハ命令ノ定ムル所ニ依リ分

割シテ之ヲ爲スコトヲ得

「國務大臣男爵中島久萬吉君演壇ニ登

O國務大臣(男爵中島久萬吉君) 簡單ニ商業組合法案提ノ理由ヲ申上ゲマス、我國現今ノ經濟界不況ハ、產業ノ有ラユル部門ニ及びマシテ、其影響ガ頗る甚大ナルモノガアルノデゴザイマス、就中中小商業者ノ困窮ハ殊ニ甚シキモノガアリマシテ、是ガ救済ハ最モ緊急ヲ要スルモノト認メラレマスルガ、是等中小商業者窮迫ノ原因ヲ繹ネ見マスルノミナラズ、又一面ニ於テハ現在商

業者ノ苦痛ヲ緩和スルコトハ緊要デゴザイマスルノミナラズ、又一面ニ於テハ現在商

品券發行者ノ責任ニ關シマシテ、何等ノ法

制モ存セザル結果、發行者ノ破産又ハ營業停止ニ際シマシテ、商品券所有者ニ不測ノ損害ヲ被ラシメタ實例ニ鑑ミマシテ、商品

券發行者ノ責任ヲ保證セシムルコトガ又必

要ト認メタ次第デゴザイマス、依テ新ニ法律ヲ制定イタシマシテ、商品券發行者ヲシテ供託ヲナサシムルト共ニ、其發行ニ付テ

必要ナル取締ヲ致サムトスルノデゴザイマス、是レ本案ヲ提出スル所以デゴザイマス、尙ホ併セテ申上ゲテ置キマスガ、本案ニ

ニ對シマシテハ衆議院ニ於テ第一條ノ商品券發行額ニ對スル國債ノ供託割合ヲ原案ニ於テ三分ノ一ト致シタルモノガ、之ヲ二分ノ一ニ増額スルノ修正方行ハレマシタ、併セテ申上ゲテ置キマス

O議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

(小林書記官朗讀)

商業組合法案特別委員
侯爵西郷 従徳君 伯爵橋本 實斐君

子爵高橋 是賢君 男爵伊藤 文吉君

阪本財之助君 室田 義文君

渡邊千代三郎君 藤原銀次郎君

山崎 龜吉君

○議長(公爵德川家達君) 書記官ヲシテ報告書ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

引續キマシテ商品券取締法提出ノ理由ヲ申上ゲマス、商品券ノ發行竝ニ利用ハ、我國

氏名左ノ如シ

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法

案特別委員會

本日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
委員長 伯爵柳原 義光君
副委員長 男爵稻田 昌植君

市俄古萬國博覽會參加ニ關スル建議案(伯爵樺山愛輔君外二名發議)

○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマス

テ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス
午前十一時五十八分休憩

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、陸軍大臣ヨリ發言ヲ求メラレマシタ、荒木陸軍大臣

〔國務大臣荒木貞夫君演壇ニ登ル〕

○議長(公爵德川家達君) 過般來南滿方面ノ兵匪ノ跳梁ニ付キマシテ屢々新聞等ニ報道ヲ致サレマス、尙ホ數日前ニ於テハ奉天ヲ襲撃ヲシタト云フコト、又昨日ハ號外ヲ以チ

マシテ奉天附近ニ於テ可ナリ激烈ナル匪賊ノ襲撃ガアッタヤウニ傳ヘラレテ居リマス

テ致サレマス、各方面ニ於キマシテ御不安ヲ感じ居ル點モアリマスルノデ、此機會ニ於キ

マシテ一應第六十二議會以後ノ滿洲方面ノ治安ノ情況ニ付テ申上ゲタイト存シマス、

第六十二議會ニ於キマシテ御協贊ヲ經マシテ豫算ニ依リマシテ、爾後統帥部ニ於キマシテハ滿洲方面ノ實情ニ適スル各種ノ機動

シマシテハ、是ハ歴史的ニモ、地理的ニモ、匪賊ノ根柢ハ深イノデアリマシテ、殊ニ地形モ錯雜ヲ致シテ居リマスルコト、只今申上げマシタヤウニ、北滿ニ主力ヲ集中イタシテ居リマスル關係カラ、此方面ニ十分手ガ伸ビナイノデ、最近マデ此方面ノ鎮定ガ出來マセヌコトハ、誠ニ遺憾ニ存ジテ居ル次第アリマス、只今ノ所ハ朝鮮國境方面ヨリ出動ヲ致シマシテ要點ヲ抑へ更ニ間島方面ト外部トノ交通ノ要衝ヲ悉ク抑ヘマシテ、補給其他ノ自由ヲ奪フテ、近ク此方面ニ對スル平定ヲ期シタイ考ヲ持テ居リマス、其間ニ北滿方面ノ兵力ノ餘裕等ヲ得マスレバ、重ネテ此方面ニ對シテ治安ノ維持モ出來ルコトニナラウト考ヘテ居リマス、大體、北滿、南滿、熱河及朝鮮國境方面ノ狀況ハ、只今申上げマシタヤウナ次第デアリマスルガ、今後此治安維持ノ方法ニ付キマシテハ、此時期ニ一言申上げテ置キマスルガ、色ニ増兵ノ御激勵ノ言葉モアリマスルシ、又速ニ鎮定セヨト云フ御忠言モ多々アリマスルノデ、萬々承知ハ致シテ居リマスルガ、此際考ヘナケレバナリマセヌコトハ、先般外務大臣カラ演説ノアリマシタ如ク、滿洲ノ今後ノ情勢ノ變化ニ應ジマシテハ、可ナリ我ミモ覺悟イタサベナラヌ點モアリマスルノデ、是カラ一般的ノ情勢ヲ見マシチ、一般ノ上カラノ國防ノ點モアリマスルコトト、此最モ機微ナル國際關係ニ處シマシテ、國際關係ノ情勢ニ付テモ大ナル判断ヲ致シマシテ、是カラ一般ノ情勢ヲモ考ヘナケレバナラヌノデアリマスルノデ、只今ノ所デハ、出來得ベクンバ現下ノ有様ノ儘デアリマスルナラバ、現有勢力ヲ以テ、現在ノ治安維持ヲ十分ニ執リタル考ヘルノデアリマシテ、是等ニ對スルソ方案ヲ考ヘテ居ル次第アリマス、是ガ爲ニ逐次情勢ニ應ジマスル如クニ、兵力編組ヲ變更イタシマシテ、情勢ニ適應スル

ヤウニ致サシテ、現有ノ兵力ヲ以テ、成ルベク滿洲方面一般ニ治安維持ニ任ジタイト考ヘラマシテ統帥部方面ニ於テハ是等整備方法ニ付テ、目下考究中デアリマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、或ハ他日豫算方面ニ於テ御協賛ヲ願フヤウナ點モアラウト存ジマスルノデ、此點ニ付キマシテハ茲ニ此時機ニ於テ御願ヲ致シテ置ク次第デアリマス、デ固ヨリ御承知ノ如クニ武力ノミヲ以テ滿洲ノ治安維持ヲ致スト云フコトハ甚ダ拙ナルモノデアリマスルノデ、其他ノ政治上ニ關係、又地方ノ兵匪ノ招撫ノ方法歸順ノ方法等ヲ併セテ之ヲ行ヒマシテ、成ルベク速ニ其平定ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ熱河方面ニ對シマシテ、ハ、今後ノ情勢ノ推移ヲ考ヘマシテ近ク之ニ對スル所ノ方策モ決定ヲセラルコトト存ジマス、デ固ヨリ只今申上げマシタル如クニ、用兵ノ關係ニ於キマシテハ、狀況ハ如何ニ變化イタシマストモ、之ニ應ズルダケノ準備ヲ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、此狀況ノ變化エ伴ヒマシテ、起シテ參リマス所ノ一般ノ狀況ニ對シマシテハ、何時タリトモ之ニ應ジマシテ處置ヲスル所ノ用意ヲ十分ニ致シテ居リマスルノデ、左様ナ萬々一ノコトガアリマシテモ、之ニ對シテ只今ノ所何等遺算ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、只今申上げマシタヤウナ情勢ニ於キマシテ、北滿ハ既ニ平定ヲ致シマス、シテ日滿兩國ノ共存共榮ノ目的、竝ニ滿洲ニ對シマスル所ノ我國ノ大キナル抱負ノ下ニ、出來得ル限リ斯様ノ機會ヲ捉ヘマシテ、十分ノ德ガ及ビマシテ恩威並ビ行ハレテ、以テ北滿ノ平定ヲ期シタイト考ヘテ居リマシテ、政府ニ於キマシテハ是等ニ對スル處置モ勿論執、テ居ル次第アリマスルガ、尙ホ此時機ニ於キマシテ此方面ニ對シマスル只今ノ處置ニ付キマシテハ、又機ヲ見マシテ十分ノ御高配ヲ仰ギタイト存ズル次第アリマス、茲ニ短簡デアリマスルガ北滿テ、又萬々一狀況ノ變化ニ應ジマシテ危急ニ付キマシテ、此邊ノ點ヲ十分御了承ノテ居リマスルノデ、此邊ノ點ヲ十分御了承ノ

グヤウナ場合モアラウト存ジマスルノデ、

ヤウニ致サシテ、現有ノ兵力ヲ以テ、成ルベク滿洲方面一般ニ治安維持ニ任ジタイト考ヘラマシテ統帥部方面ニ於テハ是等整備方法ニ付テ、目下考究中デアリマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、或ハ他日豫算方面ニ於テ御協賛ヲ願フヤウナ點モアラウト存ジマスルガ、殆ド全滿洲、北滿ノ三分ノ一ノ水害ノ狀況ヲ一應申上げテ置キマス、最早新聞ニ於テ御承知ノ點デアリマスルノデ、重ネテ詳細ニ申上ゲル必要モナイト存ジマスルガ、殆ド全滿洲、北滿ノ三分ノ一ノ地方ニ浸水イタシマシテ、哈爾濱ノミニ於テモ約二十万人ノ被害者ガ今日苦ンデ居ル情勢デアリマス、其上ニ之ニ伴ヒマス所ノ流行病、殊ニ「コレラ」病ガ流行イタシマスノデ、出先陸軍ト致シマシテハ、滿洲國ガ建國以來マダ日モ淺ク、北滿ニ於テハ馬占山ノ跳梁ガ、最近マデ致シテ居タコトデアリマスシ、他ノ一面ニ於テハ反滿洲國ノ策動モ可ナリ猛烈デアリマスルノデ、此狀況ニ於キマシテ、此水害ヲ受ケマンタ爲ニ、流言蜚語等モ段々傳ハリマスルノデ、是等ヲ取締リ以テ北滿方面ニ於ケル所ノ治安維持ニ努力ヲ致シテ居リマス、此地方ニ於キマス所ノ皇軍ノ威武ハ既ニ親シク此地方ニ及シテ居リマスルガ、未ダ皇國ノ德化ハ及シテ、此狀況ノ變化エ伴ヒマシテ、起シテ參リマス所ノ一般ノ狀況ニ對シマシテハ、何時タリトモ之ニ應ジマシテ處置ヲスル所ノ用意ヲ十分ニ致シテ居リマスルノデ、左様ナ萬々一ノコトガアリマシテモ、之ニ對シテ只今ノ所何等遺算ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、只今申上げマシタヤウナ情勢ニ於キマシテ、北滿ハ既ニ平定ヲ致シマス、シテ日滿兩國ノ共存共榮ノ目的、竝ニ滿洲ニ對シマスル所ノ我國ノ大キナル抱負ノ下ニ、出來得ル限リ斯様ノ機會ヲ捉ヘマシテ、十分ノ德ガ及ビマシテ恩威並ビ行ハレテ、以テ北滿ノ平定ヲ期シタイト考ヘテ居リマシテ、政府ニ於キマシテハ是等ニ對スル處置モ勿論執、テ居ル次第アリマスルガ、尙ホ此時機ニ於キマシテ此方面ニ對シマスル只今ノ處置ニ付キマシテハ、又機ヲ見マシテ十分ノ御高配ヲ仰ギタイト存ズル次第アリマス、茲ニ短簡デアリマスルガ北滿テ、又萬々一狀況ノ變化ニ應ジマシテ危急ニ付キマシテ、此邊ノ點ヲ十分御了承ノ

○議長(公爵徳川家達君) 此際御詔リヲ致
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因
停法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、
小山司法大臣

昭和七年九月一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

金錢債務臨時調停法
金錢債務臨時調停法

(小字及
衆議院議長秋田清

第一條 負債ノ整理ニ依リ誠實ナル債務者ヲ更生セシムル爲債權者債務者ノ互讓ヲ必要トスルトキハ當事者ハ本法ニ依リ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二條 調停ノ申立ハ昭和七年七月三十日以前ニ發生シタル私法上ノ金錢債務ニシテ金額千圓ヲ超過セザルモノニ付之ヲ爲スコトヲ得但シ小作料其ノ他小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家賃其ノ他借地借家關係ヨリ生ジタルモノニ付之ヲ爲スコトヲ得

第三條 調停ノ申立ハ昭和七年七月三十日以前ニ發生シタル私法上ノ金錢債務ニシテ金額千圓ヲ超過セザルモノニ付之ヲ爲スコトヲ得但シ小作料其ノ他小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家賃其ノ他借地借家關係ヨリ生ジタルモノニ付之ヲ爲スコトヲ得

第四條 申立ノ金額ヲ超過スル債務ニ付調停ノ申立アリタル場合ト唯モ裁判所調停ヲ爲スヲ申當ト認メ且相手方ニ異議ナキトキハ調停ヲ爲スコトヲ得相手方期

日ニ出頭シテ事件ノ内容ニ付陳述ヲ始

メタルトキハ異義ナキモノト看做ス

第三條 調停ノ申立ハ相手方ノ住所、居所、營業所若ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル區裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要

調停ノ申立ヲ受ケタル裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所ガ調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同ジ前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第四條 本法ノ調停ニ關シテハ借地借家。第八條 乃至第二十三條及第二十六條乃至第

三十二條ノ規定ヲ準用ス

第五條 當事者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ辯護士又ハ裁判所ノ許可受ケタル代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得

調停法第一條、第四條ノ二、第六條

。第八條 乃至第二十三條及第二十六條乃至第

三十二條ノ規定ヲ準用ス

第五條 當事者及利害關係人ハ自身出頭スル

コトヲ要ス但シ辯護士又ハ裁判所ノ許可受ケタル代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第五條 事件ガ性質上調停ヲ爲スニ適セズ又ハ當事者不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ調停ノ申立ヲ却下ス

第六條 調停委員會前項ノ事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲サズ

第七條 第二項ニ該當スルトキ又ハ裁調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニキ亦同ジ

第八條 前條ノ規定ニ依ル裁判ハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第六條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟ガ繫屬スルトキ又ハ裁判所ノ職權ヲ以テ事件ガ調停ニ付セラレタルト

キハ受訴裁判所ハ決定ヲ以テ調停ノ終了又ハ第七條ノ規定ニ依ル裁判確定ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

競賣手續ヲ一時停止スルコトヲ得

破產宣告ノ決定ヲ一時猶豫スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ特ニ必要ト認ムルトキハ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

民事訴訟法第一百二十二条、第一百三十三条、

第一百五十五条及第一百六十六条ノ規定ハ前項ノ擔保ニ之ヲ準用ス

第一項及第二項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

ハ之ヲ二週間トス
前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス
第十條 第七條ノ規定ニ依ル裁判確定シタルトキハ其ノ裁判ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第十一條 調停委員又ハ調停委員タリス者故ナク評議ノ顧末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム本法ハ本法施行ノ日ヨリ三年間其ノ效力ヲ有ス

本法失効ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ附則

勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣小山松吉君演壇ニ登ル)

○國務大臣(小山松吉君) 只今議題トナリ

マシタル金錢債務臨時調停法案ニ付テ御説

方ノ利益ヲ衡平ニ考慮シ其ノ資力、業務ノ性質、既ニ債務者ノ支拂ヒタル利息手數料内入金等ノ額其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ調停ニ代ヘ利息、期限其ノ他債務關係ノ變更ヲ命ズル裁判ヲ爲スコトヲ得此ノ裁判ニ於テハ債務ノ履行

マシタルシテ、之ヲ打開スルノ一方方法致シマシテ、ノ他官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業

明申上ゲマスル、經濟界不況ノ現状ニ鑑ミ

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告者ガゴザイマスカラ順次發言ヲ許シマス(一大城兼義君)

(大城兼義君演壇ニ登ル)

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告者ガゴザイマスカラ順次發言ヲ許シマス(一大城兼義君)

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告者ガゴザイマスカラ順次發言ヲ許シマス(一大城兼義君)

職權ヲ以テ調停委員ノ意見ヲ聽キマシタ後ニ各般ノ事情ヲ斟酌イタシマシテ、當事者双方ノ利益ヲ公平ニ考慮イタシマシテ、債務關係ノ變更ヲ命ズル裁判ヲ爲スコトヲ得ルモノト致シタノデアリマス、尙ホ本法案ハ時局匡救ノ一方法トシテ施行セムトスル者デアリマスルカラ、其施行期間モ他ノ匡救施設ト同様之ヲ三年間ト致シタノデアリマス、政府提出ノ原案ニ於キマシテハ、一千圓以下ノ金錢債務ニ付テノミニ本法ヲ適用スルコト致シタノデアリマシタガ、衆議院ノ修正ニ依リマシテ右金額ノ制限ハ撤廢セズルルコトナリマシタ、其ノ他二三ノ點ニ付テノ修正ガアダノデアリマスルガ、政府ハ右修正ニハ遺憾ナガラ贊成イタシ難イノデアリマス、何卒慎重審議ノ上原案ニ

點ニ付テノ修正ガアダノデアリマスルガ、政府ハ右修正ニハ遺憾ナガラ贊成イタシ難イノデアリマス、何卒慎重審議ノ上原案ニ御賛成アラムコトヲ請ヒマス

(議長公爵德川家達君議長席ニ復ス)

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告者ガゴザイマスカラ順次發言ヲ許シマス(一大城兼義君)

(大城兼義君演壇ニ登ル)

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告者ガゴザイマスカラ順次發言ヲ許シマス(一大城兼義君)

ルカラ、別段ニソレニ手ヲ觸レル必要ハナ
イト考ヘル次第アリマス、先程司法大臣
ガ仰シヤイマシタガ、ソレニハ小作ヤ何
カハ別ニ調停法ガアルカラ是デ以テ取締
テ居ル、故ニアレハ除外シタ、斯ウ云フ御
言葉デアリマス、所ガ無盡モ今斯ノヤウナ
モノデ無盡法デ取締テ居ル第十二條ニ確
カリ取締テ居ル、ソレニ持ツテ來テ手ヲ入
レル必要ハナイ、ドッチモ同ジモノダト思
フ、矢張リ取締法或ヘ調停法トシテモ何モ
大シテ手ヲ入レル必要ノナイ所ヘ徒ラニ手
ヲ入レテ、サウシテ天下ヲ悪化セシメルト
云フ必要ハ更ニナイト思フ、此故ニ全部ニ
至シテ私ハ無盡ハ除外サレタイトハ言ヒマ
セヌ、何カト云フタラ無盡會社ニ依ツテハ惡
辣ナ人モ居ラテ、或ヘ拂戾スベキ金錢ガア
ルニ拘ラスソレヲ避ツテ出サヌノガアッタナ
ラバ、是ハ大イニ其調停法ニ掛ケテ取締ルベ
シトスウ思フ、所ガ無盡ノ掛金ヨリ生ジタ
所ノ債權其モノヲ、少シモ手ヲ入レルコト
許ヲサナイ、之ニ手ヲ入レルトスレバ是ハ
病ガ生ズルノデ、掛金者ガ甘ヘテ來テ、ソ
レカラ調停法ニ掛カラウトシテ、ドウシテ
モ未納勝チニナルト云フコトハ火ヲ踏ルヨ
リモ明ラカデアルト思フ、初メカラ火ヲ踏
ル如タ明ラカデアルナラバ、何故ソンナ有
害無益ナコトヲスルカトスウナル、ソレ故
ドウシテモ掛金ヨリ生ズル所ノ債權其モノ
ハ、丁度其小作料見タイナ工合ニ除外シテ
ヤルノガ至當デハナイカト思フ、ソレハ今
讀ミマンタ所ノ無盡法ニモ確然ト取締ガ
アテ、掛金ハ動カスベカラザルモノデアルトス
給付金ハ動カスベカラザルモノデアルトス
ウ云フコトヲ言ヒ切ツテアルノニソレヲ何
故ニ之ニ定メルカ、頗ル是ハ成ツテ居ナイ、
故ニ是ケダハ是非除外例ヲ入レテ貰ヒタイ
ト私ハ希望シテ置ク次第アリマス、之ニ
付テ其意見ヲ求メル次第アリマス、左様
御聽取リアラムコトヲ希望イタシマス

國務大臣小山松吉君演壇ニ登ル

○國務大臣(小山松吉君) 再度ノ御尋ニ御
答へ致シマス、御質問ニ關スル部分ダケニ
付テ簡單ニ申上ダマスガ、第七條ノ第二項
ニ「業務ノ機構ヲ害スル虞アルトキハ」ト申
シマスノハ、是ハ各箇ノ事件ニ付キマシテ、
其局ニ當ツテ裁判ヲ致シマスル當局者ガ、之
ヲ見ルヨリ外ニハ方法ガナイノデアリマシ
テ、只今一々此場合ヲ申上ゲルコトハ困難
デアリマス、ソレカラ此案ハ御言葉ニ依リ
マスト、債務者が何カ借金棒引デモスル爲
ニ便宜ナ案テアルヤウニ御解釋ノヤウデア
リマスガ、第一條ニ書イテアリマスヤウニ、
此案ニ依ツテ更正セシメラレルモノハ「誠實
ナル債務者」デアリマスカラ、不誠實ナル債
務者、借金棒引ノ意圖ヲ有テ居ル者ハ此
案デハソレハ調停ヲシテヤラナイト云フ考
デ居ルノデアリマス、尙ホ此案デハ債務者
モ亦調停ノ申立ガ出來ルノデアリマシテ、此場合
債權者ノ方ヨリ債務者ニ對シテ効キカケマ
シテ、サウシテ債務者ガナカノ、應ズルヤ
ウナコトノ出來ニアリマスモノ
ヲ、五ニ話ヲ仕合ツテ互讓ノ結果、債務ノ辨
濟ガ圓滑ニ行クト云フ場合モ考ヘテ居ルノ
デアリマス、無盡業者ハ御言葉ノヤウニ總
テガ適當ナル無盡業者ノミデアルトハ私モ
考ヘテ居ナイノデアリマシテ、此法案ヲ審
議イタシマスル際ニ、衆議院ニ於テモ無盡
業者ガ隨分ヒドイコトシヲテ、掛金ノ取立
ヲシテ居ルト云フコトヲ申シテ居タ委員
モゴザイマシタ、ソレデアリマスカラ法律
ニ於テ全然除外スルト云フコトハ、法ノ規
定期シテハ到底爲シ難イノデアリマス、ソ
レダケ申上ゲテ置キマス

○大城義基君 今司法大臣ノ仰シヤル所ニ
依レバ、債務者モ債權者モ兩方保護スル積
リデアルト、是ハ私モ否認ハ致シマセヌ、
定トシテハ到底爲シ難イノデアリマス、ソ
併シ今日ノ場合ニ於キマシテ何ヲ意味シテ
此議會ヲ開イテアルカ、匡救問題トシテ何
ヲ意味シテ開イテアルカト申シマスレバ、
第一讀會

即チ債務者ヲ多ク助ケルト云フ意味ヨリ生
ジテ居ルコトト思フノデアリマス、所ガ當
局トシテハ、債權者モ或場合ニ於テハ助カ
ル、ソレハ無論解釋ハサウ出來ルト思ヒマ
ス、私モゾレハ百中一二、十中二三ハアル
ト思ヒマス、余ハ大小輕重ヲ以テ論ジテ居
ル、ソンナニ皆絶對的ニアルモノデハナイ
ル、ソレハ無論解釋ハサウ出來ルト思ヒマ
スカラ申シマシテモ、人ノ物ヲ借リタ
ラ返ス、金ヲ借リタラ返ス、其義務觀念ヲ
堅ク養成スルト云フコトハ、是ハ國民トシ
テ教育ノ一大要件デアルト思フノデアリマ
ス、此意味ヨリ致シマシテモ十分ニ取締ラ
レテ居ル所ノ無盡法ニ別段ニ手ヲ入レル必
要ガナニ、併シ私ハ全部ニ亘ツテ約束ガ
レヲ取り損ダラ給付ガ出來ナイ、又モウ一
ツ司法大臣ノ仰シヤル言葉ニ、ドウモ無盡
業者ハ加入カラ掛金ヲ取ルノニ非常ニヒド
レバ此給付ハ出來ナイ、ソレヲ調節シテ減
少ストスレバ、ソレダケ不足ヲ生ズル譯デ
アルカラ給付ハ出來ナクナル譯デアル、給
付ガ出來ナクナツタナラバ先程カラ申ス通
リ加入者ノ損失ヲ招ク、今二百萬カラアル
所ノ加入者ガ、大分困ルト云フコトニナル
ノデアル、故ニドウシテモ此掛金ニハ觸レ
ナイデモ別段ニ差支ナイト思フ、差支ガナ
化セシムル必要ハナイト思フ、何處マデモ
是ハ掛金ヨリ生ズル所ノ債權ハ是非是ハ除
外シテ行カナケレバナラスト私ハ思フノデ
アリマス、又義務觀念ト云フノガ、責任ヲ
負ヒ義務ヲ興ヘラレテ居ルモノデアルデス
ル、所デソレニ持ツテ來テ又更ニ要ラヌト

手ヲ觸レテ來ルトスレバ詰リ此義務觀念ガ
何處マデモ破壞サレ、實ニドウモ困ツタコ
トニナルト、我ニハ何處マデモソレハ憂慮
シテ已マナニ次第アリマス、ソレデ教育
ノ根本カラ申シマシテモ、人ノ物ヲ借リタ
ラ返ス、金ヲ借リタラ返ス、其義務觀念ヲ
堅ク養成スルト云フコトハ、是ハ國民トシ
テ教育ノ一大要件デアルト思フノデアリマ
ス、此意味ヨリ致シマシテモ十分ニ取締ラ
レテ居ル所ノ無盡法ニ別段ニ手ヲ入レル必
要ガナニ、併シ私ハ全部ニ亘ツテ約束ガ
レヲ取り損ダラ給付ガ出來ナイ、又モウ一
ツ司法大臣ノ仰シヤル言葉ニ、ドウモ無盡
業者ハ加入カラ掛金ヲ取ルノニ非常ニヒド
レバ此給付ハ出來ナイ、ソレヲ調節シテ減
少ストスレバ、ソレダケ不足ヲ生ズル譯デ
アルカラ給付ハ出來ナクナル譯デアル、給
付ガ出來ナクナツタナラバ先程カラ申ス通
リ加入者ノ損失ヲ招ク、今二百萬カラアル
所ノ加入者ガ、大分困ルト云フコトニナル
ノデアル、故ニドウシテモ此掛金ニハ觸レ
ナイデモ別段ニ差支ナイト思フ、差支ガナ
化セシムル必要ハナイト思フ、何處マデモ
是ハ掛金ヨリ生ズル所ノ債權ハ是非是ハ除
外シテ行カナケレバナラスト私ハ思フノデ
アリマス、又義務觀念ト云フノガ、責任ヲ
負ヒ義務ヲ興ヘラレテ居ルモノデアルデス
ル、所デソレニ持ツテ來テ又更ニ要ラヌト

期限ガ來テ居ルト言フ、當事者間ニ毫モ争ヒガナイ、サウ云フ場合デアリマシタナラバ、外ノ調停法デハ調停ニ持來スコトハ出来ナイノデアリマス、ドウカ争ヒハナイケレドモ、負ケテ貰ヒタイトカ、或ハ延期シテ貰ヒタイトカ云フコトヘ、外ノ場合ナラバ、外ノ調停法ニ持出スコトハ出来ナイノデアリマス、併ナガラ本案ハソレガ出來ルノデアリマス、何ノ争ヒガナクテモ調停ニ持出スコトガ出來ル、何ノ爲ニ持出スカト云ヘバ争ヒガアリマセヌガ、是ハ今困ルカラ少シ負ケテ貰ヒタイ、或ハ延期シテ貰ヒタイト云フコトガ言ヘレバコソ、本案デ争ヒガナクテモ調停ニ持出スコトガ出來ルトナッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ本案ノ本案タル所以ハ、本案ノ生命ハ何處ニアルカト云ヘバ、實ハ免除ト延期ニアルノデアリマス、即チ通俗ノ言葉デ言ヘバ棒引案ト云フ所ニ本案ノ生命ガアルノデアリマス、ソレヲ除イテハ本案ノ生命ノ特質ハナイノデアリマス、デアリマスカラ司法當局ハ棒引案デナイト仰シヤイマスケレドモ、言葉ガ惡イナラバ……サウ仰シヤルニ拘ラズ、是ガ矢張債務ノ免除案デアリ延期案デアル、假ニ是ハ暫ク司法當局ノ言葉ニハ反シマスケレドモ、其實質カラ見マスト、是ハ債務ノ免除案デアリ、「モラトリアム」案デアル、延期案デアルト見マシテ、サウシテ之ヲ調停ニスルト云フコトガ果シテ適當デアルヤ否ヤ、調停ニ依テ眞ニ救濟セラレムトスル所ノ小債務者ガ、之ニ依テ救濟

ガ出來ルカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、其點ニ於テモ頗ル疑問ガアリマス、本當ニ救濟ヲ受ケヤウトバ調停法ニ持出スコトハ出来ナイノデアリマス、併ナガラ本案ハソレガ出來ルノデアリマス、何ノ争ヒガナクテモ調停ニ持出スコトガ出來ル、何ノ爲ニ持出スカト云ヘバ争ヒガアリマセヌガ、是ハ今困ルカラ少シ負ケテ貰ヒタイ、或ハ延期シテ貰ヒタイト云フコトガ言ヘレバコソ、本案デ争ヒガナクテモ調停ニ持出スコトガ出來ルトナッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ本案ノ本案タル所以ハ、本案ノ生命ハ何處ニアルカト云ヘバ、實ハ私ハ不可能ナコトデアルト思フノデアリマス、デアリマスルカラニ依テ眞ニ之ヲ利用スル人間ハ、都會ナリ町村ニ於キマシテモ、比較的口ノ利ケルヤウナ人間タケガ之ヲ利用スル、サウシテ事實ニ於キマシテハ實ハ惡イ人間ガ之ヲ利用スルト云フコトニナル、正直ナ人間ハ多クノ場合ニハ斯ウ云フコトヲ裁判所ニマデ出掛けテ、サウシテ裁判所ニ於テ事實ノ了解ヲ得ルト云フコトハナカ／＼出來ナノデアリマス、出來ナイノデアリマスルカラ本當ニ當事者ガ其處へ出掛けテ行ックト致シマシテモ、當事者ガ相對シテソコデ事情ヲ述べテ、相反スル所ヲ御互ニ主張スル場合ニ、其處デ聞イテ居ラレル裁判所ナリ調停員ニ、成程尤モダト首肯サレルノハ、

居ラテ、是ハ一方ハ氣ノ毒ダ、一方ハ正直ダ云フコトヲ見ラレルコトハ、ソレハアリマス、其處デ一應ノ事情ヲ其處へ持テ來ル、ソレダケヲ見テ、是ハ勿論調停モ證據調停ノ手續ヲスルト云フコトニハ、多クノ場合ハ不適當ナ人デアリマス、殊ニ農村ニ於テ僅カノ借金ヲシテ居ル者ガ、區裁判所ヘノコトニナフテ居リマスカラ、本人自分ガ出掛けナケレバナラヌ、本人自分ガ出掛けナケテ事情ヲ訴ヘテ、サウシテ救濟ヲ受ケルト云フコトハ、實ハ私ハ不可能ナコトデアルト思フノデアリマス、デアリマスルカラニ依テ眞ニ之ヲ利用スル人間ハ、都會ナリ町村ニ於キマシテモ、比較的口ノ利ケルヤウナ人間タケガ之ヲ利用スル、サウシテ事實ニ於キマシテハ實ハ惡イ人間ガ之ヲ利用スルト云フコトニナル、正直ナ人間ハ多クノ場合ニハ斯ウ云フコトヲ裁判所ニハ借リタケレドモ、是ハ外ノ關係デ既ニ茲ニ一つノ問題ガ起ツテ參リマシテ、一方ハ千圓貸シタト言フ、一方ハ千圓借リルコトデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバデアルトカト言フヤウナコトガ争ヒニナリハ借リタケレドモ、是ハ外ノ關係デ既ニ茲ニ一つノ問題ガ起ツテ參リマシテ、一方ハ千圓貸シタト言フ、一方ハ千圓借リルコトデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ

ソレモ訴訟事件カ何カデ長イ間色ミスッタスルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、本當ニ救濟ヲ受ケヤウト所……裁判所ニ出掛けテ、サウシテ此調停所ノ手續ヲスルト云フコトニハ、多クノ場合ハ不適當ナ人デアリマス、殊ニ農村ニ於テ僅カノ借金ヲシテ居ル者ガ、區裁判所ヘノコトニナフテ居リマスカラ、本人自分ガ出掛けナケレバナラヌ、本人自分ガ出掛けナケテ事情ヲ訴ヘテ、サウシテ救濟ヲ受ケルト云フコトニナフテ居リマスカラ、其上イコトニナフテ居リマスカラ、本人自分ガ出掛けナケレバナラヌ、本人自分ガ出掛けナケテ事情ヲ訴ヘテ、サウシテ救濟ヲ受ケルト云フコトハ、實ハ私ハ不可能ナコトデアルト思フノデアリマス、デアリマスルカラニ依テ眞ニ之ヲ利用スル人間ハ、都會ナリ町村ニ於キマシテモ、比較的口ノ利ケルヤウナ人間タケガ之ヲ利用スル、サウシテ事實ニ於キマシテハ實ハ惡イ人間ガ之ヲ利用スルト云フコトニナル、正直ナ人間ハ多クノ場合ニハ斯ウ云フコトヲ裁判所ニハ借リタケレドモ、是ハ外ノ關係デ既ニ茲ニ一つノ問題ガ起ツテ參リマシテ、一方ハ千圓貸シタト言フ、一方ハ千圓借リルコトデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバデアルトカト言フヤウナコトガ争ヒニナリハ借リタケレドモ、是ハ外ノ關係デ既ニ茲ニ一つノ問題ガ起ツテ參リマシテ、一方ハ千圓貸シタト言フ、一方ハ千圓借リルコトデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ

拂ヘト云フコトヲ言ハレタカラ已ムヲ得ヌコトニナルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ第二ソ憲法ノ二十四條ニ於テ保護シテゴザイマスル「日本臣民ハ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハル、コトナシ」ト云、テ、憲法二十四條ニ保障セラレテ居ルノハ、斯ウ云フ場合ニ適切ニ當ルモノデハナカト思フノデアリマス、若シ果シテサウデアルト致シマスナラバ、或ハ法律ノ技巧ノ上デ、形式上ノ辯明ハ出來ルカモ知リマセヌガ、少クトモ憲法ノ精神ニ於キマシテハ、裁判官ノ裁判ヲ受ケルト云フ臣民ノ權利ヲ、之ニ依テ奪フト云フ實質上ノ精神アリマス、此點ニ付キマシテ當局ニ御伺フシタイト考ヘマスルノハ、案ノ第七條ニ、調停ノ申立ヲ受理シタ調停委員會ニ於テ調停成ラザル場合ニ、裁判所相當ト認ムルトキハ職權ヲ以テ調停ニ代ヘ、債務關係ノ變更ヲ命スル裁判ヲ爲スコトヲ得、今ノヤウナ場合ニ五百圓拂ヘト云フ裁判ヲスルコトガ出來ルト云フ、此「裁判ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトハ、是ハ憲法二十四條ニ所謂裁判ニ當ルノデアルト云フ御解釋デアリマセウカ、ダカラ矢張リ裁判デアルノダ、是ハ憲法二十四條ノ裁判ヲスルノダカラ、其裁判ヲスル手續ガ善イカ惡イカハ別問題トシテ、即チ憲法ニ謂フ裁判ニ當ルノダカラ、憲法違反デハナイト云フ御意見デゴザイマセウカ、若シサウデアルトスルナラバ、私

ハ其精神ニ於テハ頗ル不都合ナモノデハナカト思フノデアリマス、斯様ナ次第ゴザイマシテ、本案ハ名ハ調停ト申シマスルケレドモ、外ノ調停法トハ全ク違テ居ル、案ハ債權ノアル者ニ向テハ債權ノ一部若クハ全部ヲ捧引キラシ、債務ヲ何等負擔シテ居ラヌ人ニデモ裁判所ノ意見ニ依テ債務ヲオ前拂ヘト云フコトヲ命ズルコトガ出来ル法律デアルノデアリマス、是ハ調停法ト申シマスルカラ、皆其調停ナル名前ニ騙サレテ區裁判所ニ行クト云フコトハ、成ルホド尤モノヤウニシテ何人モ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ實質ガ斯様ナモノデアルト云フコトニ思ヒ至ツカラ如何ナモノデゴザイマセウ、債權ヲ持テ居ル者ハ立派ナ證明方法ヲ持テ居テモソレハ顧ミズニ、オ前ハ半分負ケテシマヘト云、財產權ヲ全然奪ハレルノデアリマス、債務者ノ方トシテモ本當ノ裁判ヲ受ケレバ一文モ拂ハヌデモ濟ム、少シモ債務ハナイノニ拘ラズ、オ前ハ五百圓拂ヘト言ハレレバ拂ハナケレバナラヌ、是ハ負擔ヲ課セラレル、國家ノデアリマスガ、惡辣ナル惡人ニ言ヒ掛リヲ失タガ爲ニ、ソレニ乘ゼラレテ惡イ債權者ノ爲ニ五百圓ミスヽ拂ハナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ暴君ニ等シイヤウナ仕事ヲ區裁判所ノ判事ニサセルト云フコトニ

考ヘテ見マシタナラバ如何デゴザイマセウカ、如何ニモ不都合千萬ノコトノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、千圓ノ金額ニシテケレドモ、外ノ調停法トハ全ク違テ居ル、山疑問ヲ持テ居リマスガ、モウ一ツダケセザルニ於キマシテハ、殊ニ甚シイモノガ外ノ調停法ニハ争ヒガアル場合ニ、ソレヲ調停シテヤルト云フノデアリマスルガ、本案ハ債權ノアル者ニ向テハ債權ノ一部若クハ全部ヲ捧引キラシ、債務ヲ何等負擔シテ居ラヌ人ニデモ裁判所ノ意見ニ依テ債務ヲオ前拂ヘト云フコトヲ命ズルコトガ出来ル法律デアルノデアリマス、是ハ調停法ト申シマスルカラ、皆其調停ナル名前ニ騙サレテ區裁判所ニ行クト云フコトハ、成ルホド尤モノヤウニシテ何人モ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ三年間ノ「モラトリーム」ヲスル、一年體ナラバ三年間ノ「モラトリーム」ヲスルトキハ矢張リ三年間シカ效力ヲ持タヌト云フ意味デアリマセウカ、此法律ガ力ヲ有ス「トナツテ居ルノデアリマス、先刻ノ大臣ノ御説明モアタヤウデアリマシタ則ニ「本法ハ本法施行ノ日ヨリ三年間其効力ヲ有ス」ト云フコトノ意味ハ、此法律ニ依テ調停ノ手續ヲナス期間ガ三年間ト云フ意味デゴザイマセウカ、多分サウダラウト思フノデアリマス、或ハ此法律ニ依テ致シマスル調停若クハ調停ニ代ル裁判、ソレハ矢張リ三年間シカ效力ヲ持タヌト云フ意味デアリマセウカ、此法律ガ力ハ永遠ニ繼續ラスル、唯此法律ガ効ク間ガ三年間ト云フ意味デ恐ラクハサウデアラカト考ヘルノデアリマスガ、其ドチラノウカト考ヘルノデアリマスガ、其ドチラノ意味デアルカラ伺ヒタイノデアリマス、若シ此法律ガ効クノデアリマスガ、三年間少クモ猶豫シテ居ル趣旨デアルニモ拘ハラズ「モラトリーム」以上ノ效果ヲ生ズルト云フコトハ、不必テ居ル趣旨デアルニモ拘ハラズ「モラトリーム」以上ノ效果ヲ生ズルト云フ結果ヲ生ズルノデハアリマスマイカ、三年間少クモ猶豫シテヤレバ宜シイ、殊ニ極端ナル場合ヲ想像イタシマスルト云フト、三年ノ期間満了ニ際シマシテ、斯ウ云フ問題ヲ提起シテ調停ヲ受ケタ極ク極端ナル場合ヲ想像スレバ、今日漸ク調停ヲ受ケタ、或ハ裁判ヲ受ケタ、所ガデアリトシマスルナラバ、或ハ少シ行キ過言タモノデハナイデアリマセウカ、今時局

之ヲ救濟スルト云フ、臨時ニ救濟ヲスルト云フノガ本案ノ目的デアルノデアリマス、三年經テバ立派ニ債務ノ辨済ヲ爲シ得ルヤウナ時勢ニナリ得ルグラウト云フ豫想ノ下ニ出來テ居ルノデアリマス、然ラバ此時局考ヘテ見マシタナラバ如何デゴザイマセウカ、如何ニモ不都合千萬ノコトノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、千圓ノ金額ニシテケレドモ、外ノ調停法トハ全ク違テ居ル、山疑問ヲ持テ居リマスガ、モウ一ツダケセザルニ於キマシテハ、殊ニ甚シイモノガ外ノ調停法ニハ争ヒガアル場合ニ、ソレヲ調停シテヤルト云フノデアリマスルガ、本案ハ債權ノアル者ニ向テハ債權ノ一部若クハ全部ヲ捧引キラシ、債務ヲ何等負擔シテ居ラヌ人ニデモ裁判所ノ意見ニ依テ債務ヲオ前拂ヘト云フコトヲ命ズルコトガ出来ル法律デアルノデアリマス、是ハ調停法ト申シマスルカラ、皆其調停ナル名前ニ騙サレテ區裁判所ニ行クト云フコトハ、成ルホド尤モノヤウニシテ何人モ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ實質ガ斯様ナモノデアルト云フコトニ思ヒ至ツカラ如何ナモノデゴザイマセウ、債權ヲ持テ居ル者ハ立派ナ證明方法ヲ持テ居テモソレハ顧ミズニ、オ前ハ半分負ケテシマヘト云、財產權ヲ全然奪ハレルノデアリマス、債務者ノ方トシテモ本當ノ裁判ヲ受ケレバ一文モ拂ハヌデモ濟ム、少シモ債務ハナイノニ拘ラズ、オ前ハ五百圓拂ヘト言ハレレバ拂ハナケレバナラヌ、是ハ負擔ヲ課セラレル、國家ノデアリマスガ、惡辣ナル惡人ニ言ヒ掛リヲ失タガ爲ニ、ソレニ乘ゼラレテ惡イ債權者ノ爲ニ五百圓ミスヽ拂ハナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ暴君ニ等シイヤウナ仕事ヲ區裁判所ノ判事ニサセルト云フコトニ

考ヘテ見マシタナラバ如何デゴザイマセウカ、如何ニモ不都合千萬ノコトノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、千圓ノ金額ニシテケレドモ、外ノ調停法トハ全ク違テ居ル、山疑問ヲ持テ居リマスガ、モウ一ツダケセザルニ於キマシテハ、殊ニ甚シイモノガ外ノ調停法ニハ争ヒガアル場合ニ、ソレヲ調停シテヤルト云フノデアリマスルガ、本案ハ債權ノアル者ニ向テハ債權ノ一部若クハ全部ヲ捧引キラシ、債務ヲ何等負担シテ居ラヌ人ニデモ裁判所ノ意見ニ依テ債務ヲオ前拂ヘト云フコトヲ命ズルコトガ出来ル法律デアルノデアリマス、是ハ調停法ト申シマスルカラ、皆其調停ナル名前ニ騙サレテ區裁判所ニ行クト云フコトハ、成ルホド尤モノヤウニシテ何人モ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ三年間ノ「モラトリーム」ヲスル、一年體ナラバ三年間ノ「モラトリーム」ヲスルトキハ矢張リ三年間シカ效力ヲ持タヌト云フ意味デアリマセウカ、此法律ガ力ハ永遠ニ繼續ラスル、唯此法律ガ効ク間ガ三年間ト云フ意味デ恐ラクハサウデアラカト考ヘルノデアリマスガ、三年間少クモ猶豫シテ居ル趣旨デアルニモ拘ハラズ「モラトリーム」以上ノ效果ヲ生ズルト云フ結果ヲ生ズルノデハアリマスマイカ、三年間少クモ猶豫シテヤレバ宜シイ、殊ニ極端ナル場合ヲ想像イタシマスルト云フト、三年ノ期間満了ニ際シマシテ、斯ウ云フ問題ヲ提起シテ調停ヲ受ケタ極ク極端ナル場合ヲ想像スレバ、今日漸ク調停ヲ受ケタ、或ハ裁判ヲ受ケタ、所ガデアリトシマスルナラバ、或ハ少シ行キ過言タモノデハナイデアリマセウカ、今時局

訴訟法ノミニ依テ解決ヲスル時デハナイト云フコトニ著眼イタシマシテ、此法案ヲ立案イタシタ譯デアリマス、是ハ「モラトリアム」デアルトカ、棒引デアルト云フヤウナ御説モアリマシタ、サウ云フ風ニ見ラレル、併シ當局ヘサウデナイト云フケレドモ、サウデアルト云フ風ニ御解釋ノヤウデアリマスガ、決シテサウデハナイノデアリマス、岩田君ノ憂ヘテ居リマスヤウニ、義務觀念ノ之ニ依テ消滅シ、又ハ義務觀念ヲ無クスルヤウナ傾向ヲ生ズルト云フコトヘ、御同様憂フベキコトデアリマスカラ、此法案ニ依テ調停ヲシテ、サウシテ自力更生ノ途ヲ開イテヤラウト考ヘテ居リマスモノハ、誠實ナル債務者デアリマス、借金ヲ踏倒サウ、「モラトリアム」ニ依テ何時迄モ拂ハズニ居ラウト云フヤウナ者ハ、此法ニ依テハ救濟ヘシタクナイノデアリマス、サウ云フ趣意デアリマシテ、今詳シク申上ゲルノハ恐縮デアリマスガ、農村ノ状況ナドヲ調べテ見マスルト、真ニ債務ヲ辨濟シタイト思ヒマシテモ、前ニ買ヒマシタ田地ノ代金又ハ肥料ノ代金、其代金ナドノ計算ガ能ク出來ナイ人ガアリマス、債權者ノ方カラ期限ガ切レタカラシテ證文ヲ書換ヘロ、利子ガ滞ブ居ルカラ利子ヲ元本ニ入レロト云フヤウナ風デ債務ハ増加シテ行クノデアリマス、是ハ到底辯護士諸君ニ賴ンデハ救濟ハ出來ナイコトデアルト我ニハ考ヘタ、サウ云フ次第デアリマスカラ、此際ハ所謂非常時デアリマシテ、臨時調停法

ト云フモノニ依テ、是ハ救濟スルノガ適當ダト云フ趣意ニナツタ譯デアリマス、是ハ詳シク申上ゲマセヌデモ、岩田君ハ御承知デアラウト思フノデアリマス、第二ノ御尋ネハ此第七條ニ依ル裁判ト云フモノハ、是ハ憲法上違反ニナルノデハナイカト云フ御趣意デアリマス、是ハ議論ヲ致シマスレバ隨分議論ノ種子ニナルコトカト思ヒマス、併ナガラ司法省ガ之ヲ立案イタシマスルノニヘ、前例ノナイコトヲヤツタ譯デナインオデ、大正十三年ノ法律十六號ト申シマスルモノハ、借地借家臨時處理法デアリマス、是ハ矢張リ地代、家賃、敷金其他ノ條件ガ著シク不當デアリマス時分ニ、其雙方ノ債務關係ヲ公平ナラシムル爲ニ、裁判所ガ條件ノ變更ヲ命ジテ裁判ヲ爲スコトガ出來ル趣旨デアリマシテ、是モ矢張リ即時抗告ヲ許シテ、同法律ハ大正十三年ヨリ五箇年間施行シテ、是モ相當ナ成績ヲ擧ゲテ居ル臨時ノ法律ガアリマス、之ニ做ツタノデアリマスカラ、此時ニ於テ憲法違反論ガ出テ居ナイノデアリマスカラ、今度ノ法律ヲ憲法違反ト云フコトハ私ハ考ヘナイデモ宜シイ、又憲法違反ニ非ズト信ジテ居ルノデアリマス、第三ノ御尋ネハ三年間延期シナイデ、永久延期スルコトニナリ、永久ニ權利關係ヲ變更シ、債務關係ニ變更スルト云フ

コトガ不當デアルト云フ御話デアリマスガ、臨時ノ處理法ヲ作リマス場合ニ於テハ、ドウモサウ云フ結果ニナルダラウト思フノデアリマス、御尋ネノ此三年間ト云フノハ本法施行ノ日ヨリ三年間其效力ヲ有ストアリマス、ソレカラ三年間調停ノ申立ヲコトは當ダト云フ趣意ニナツタ譯デアリマス、是ハ詳シク申上ゲマセヌデモ、岩田君ハ御承知デアラウト思フノデアリマス、第二ノ御尋ネハ此第七條ニ依ル裁判ト云フモノハ、是ハ憲法上違反ニナルノデハナイカト云フ御趣意デアリマス、是ハ議論ヲ致シマスレバ隨分議論ノ種子ニナルコトカト思ヒマス、併ナガラ司法省ガ之ヲ立案イタシマスルノニヘ、前例ノナイコトヲヤツタ譯デナインオデ、大正十三年ノ法律十六號ト申シマスルモノハ、借地借家臨時處理法デアリマス、通リデアラウト思フノデアリマス、尙ホ本イコトハ是ハ申上ゲルマデモナク御承知ノニ確定イタシマスレバ、矢張リ確定力ヲ持ルノニヘ、前例ノナイコトヲヤツタ譯デナルモノニ、大正十三年ノ法律十六號ト申シマスルモノハ、借地借家臨時處理法デアリマス、是ハ矢張リ地代、家賃、敷金其他ノ條件ガ著シク不當デアリマス時分ニ、其雙方ノ債務關係ヲ公平ナラシムル爲ニ、裁判所ガ條件ノ變更ヲ命ジテ裁判ヲ爲スコトガ出來ル趣旨デアリマシテ、是モ矢張リ即時抗告ヲ許シテ、同法律ハ大正十三年ヨリ五箇年間施行シテ、是モ相當ナ成績ヲ擧ゲテ居ル臨時ノ法律ガアリマス、之ニ做ツタノデアリマスカラ、此時ニ於テ憲法違反論ガ出テ居ナイノデアリマスカラ、今度ノ法律ヲ憲法違反ト云フコトハ私ハ考ヘナイデモ宜シイ、又憲法違反ニ非ズト信ジテ居ルノデアリマス、第三ノ御尋ネハ三年間延期シナイデ、永久延期スルコトニナリ、永久ニ權利關係ヲ變更シ、債務關係ニ變更スルト云フ

○岩田宙造君 簡單デゴザイマスカラ此席
トデハ色ニナ議論ガ起ルコトヲ虞レマシテ、在野法曹、東京ノ辯護士會長、又ハ其他ノ有識者、學者、經驗ノアルヤウナ人ノ御意見モ聞キ、司法部内ノ相當ナ人ガ集リマシテ、數回是ハ意見ヲ纏メテ、斯ウ云フ風ニナツタ譯デアリマス、ソレダケ申上ゲテス

○土方寧君 私ハ岩田君ノ兎角ノ御議論モゴサイマシタガ、我國ノ現狀ニ照ラシ、斯ノ如キ調停法ハ時宜ニ適シタモノト信ジテ贊成スルモノデアリマスガ、此法律ガ實施セラレルニ付キマシテハ、其人間、裁判官ガ大切デアル、其點ニ付テ伺ヒタイ、何レ裁判所ノ事務ガ殖エマスカラ、增員ニナルコトデアラウト思ヒマス、確力豫算ニモ増員ノ費用ガ御要求ニナツテ居ルカト思ヒマス、併ナガラ區裁判所ノ判事ト云フモノハ、多クハ任官後年數ノ新シイモノデアリ

○國務大臣(小山松吉君) 御答へ致シマス、言葉ガ悪ウゴザイマシタガ、修正案通りデアリマス、此修正案ノヤウデアリマスハ絶體ニ困ルト迄ハ申上ゲルノチヤナ

シテハ、此法ノ運用ニ差支ヲ生ズルト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、ソレデ政府案ノ通過スルコトヲ希望イタスト云フ趣意ヲ申上ゲタノデアリマス

○松本桑治君 ドウモ徹底シタ御答へデアリマセヌガ、此際ハ是デ止メテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 報告ヲ致シマス、書記官ヲシテ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

(小林書記官朗讀)
金錢債務臨時調停法案特別委員
侯爵徳川 義親君 子爵渡邊 千冬君
子爵近衛 秀麿君 木場 貞長君
男爵徳川 喜翰君 關 直彦君
金子元三郎君 鵜澤 總明君
高廣 次平君

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員會ニ於テ當選セラレマシタ正副委員長ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

(瀬古書記官朗讀)
本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
不動産融資及損失補償法案特別委員會
委員長 伯爵二荒 芳徳君
副委員長 男爵深尾隆太郎君
商業組合法案特別委員會
委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 男爵伊藤 文吉君

○議長(公爵徳川家達君) 時休憩ヲ致シマス
午後三時四十三分休憩

午後八時二十一分開議
午後八時二十一分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ、諸般ノ報告ヲ致サセマス

(山本書記官朗讀)
本日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船
舶等乗車船優遇ニ關スル法律案
大正十五年法律第五十二條中改正法律案
道路法中特例ニ關スル法律案
銀行法中改正法律案
本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
製絲業法案可決報告書
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法
案可決報告書
產業組合法中改正法律案可決報告書
不動産融資及損失補償法案可決報告書
昭和七年法律第六號中改正法律案可決報
告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ休憩前ニ
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船
舶等乗車船優遇ニ關スル法律案
大正十五年法律第五十二條中改正法律案
道路法中特例ニ關スル法律案
銀行法中改正法律案
本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
製絲業法案可決報告書
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法
案可決報告書
產業組合法中改正法律案可決報告書
不動産融資及損失補償法案可決報告書
昭和七年法律第六號中改正法律案可決報
告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ休憩前ニ
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船
舶等乗車船優遇ニ關スル法律案
大正十五年法律第五十二條中改正法律案
道路法中特例ニ關スル法律案
銀行法中改正法律案
本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
製絲業法案可決報告書
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法
案可決報告書
產業組合法中改正法律案可決報告書
不動産融資及損失補償法案可決報告書
昭和七年法律第六號中改正法律案可決報
告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ休憩前ニ
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船
舶等乗車船優遇ニ關スル法律案
大正十五年法律第五十二條中改正法律案
道路法中特例ニ關スル法律案
銀行法中改正法律案
本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
製絲業法案可決報告書
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法
案可決報告書
產業組合法中改正法律案可決報告書
不動産融資及損失補償法案可決報告書
昭和七年法律第六號中改正法律案可決報
告書

○議長(公爵徳川家達君) 會期延長ヲ命ぜラル旨ノ詔書ヲ傳達セラレ
大臣ヨリ、九月三日マデ一日間、帝國議會
會期延長ヲ命ぜラル旨ノ詔書ヲ傳達セラレ
マシタ

○議長(公爵徳川家達君) 休憩中内閣總理
(伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル)
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件(追第二號)可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 會期延長ヲ命ぜラル旨ノ詔書ヲ傳達セラレ
大臣ヨリ、九月三日マデ一日間、帝國議會
會期延長ヲ命ぜラル旨ノ詔書ヲ傳達セラレ
マシタ

○伯爵柳澤保惠君 是ヨリ豫算委員會ニ於
キマスル議事ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報
道申上ゲマス、此四案ノ説明ハ、先日大藏
大臣ヨリ本席ニ於テ詳細ニ述べラマシタ
ノデ、私ハ再び茲ニ其計數等ヲ繰返シテ申
加ノ件ニ付キ御許リヲ致シマス、昭和七年
度各特別會計歲入歲出豫算追加案特第一
號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナ
スヲ要スル件、追第一號、豫算外國庫ノ負
擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件、追第
二號、此豫算案第四案ヲ此際議シタトイ存
ジマス、御異議ナゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、豫算委員長柳澤伯爵ノ登壇ヲ望ミ
マス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、豫算委員長柳澤伯爵ノ登壇ヲ望ミ
マス

利政策、平價切下ゲト云フヤウナモノガ主ナル題目トナルノデアリマス、財政計畫ニ付キマシテハ、確力本會議ニ於キマシテモ御質問ガザイマシタト心得テ居リマスルガ、何等此計畫ニ付テハ、當局ハ具體的ノ發表ヲサレテ居リマセヌ、又來年度ノ豫算ニ付キマシテモ、何等片鱗ヲモ伺フコトガ出來ナカッタノデアリマス、之ニ付テ御質問ガ出タノデアリマスルガ、或ハ議員ノ御方ノ中ニ大藏大臣ガ議場以外所ミデ何ヤラ財政計畫ニ當ルヤウナコトヲ斷片的ニ御話ニナックコトガアリマスルデ、左様ナ断片於テモ御話ニナックラ如何デアルカ、何モ御話ガナカッタナラバナサラヌデ宜イケレドモ、断片的ノコトヲ伺タト云フ以上ニハ、本委員會ニ於テモナスマタラ宜カラウト云フコトガ出マシタガ、ソレニ對シマシテハ大藏大臣ハ別ニ左様ナコトヲ言々タ覺エハナイ、何カサウ云フ具體的ノコトガ出タ場合ニハ、其名目位ハ言々タコトガアルケレドモ、別ニ財政計畫ノ片鱗トモ看做スペキコトヲ言々タコトハナイト云フコトニ伺タノデアリマス、從テ增稅計畫ナドニ付テノコトモ別ニ何等今考慮シテ居ラヌト云フコトデゴザイマシタ、從テ八年度ノ豫算ニ對シ

マシテモ、何等之ニ觸レテ申サレタコトハゴザイマセヌ、併ナガラ此前ノ議會ニモ申御質問ガザイマシタノデアリマスルガ、此度ニ付キマシテモ矢張リ八年度ノ豫算ニ付シテハ赤字公債ハ若干アルデアラウ、是ハ免ルベカラザルコトデアルト云フコトデゴザイマシタガ、其他別ニ、特ニ申上ゲルヤウナコトハ伺ヒマセヌデシタ、爲替問題ニ付キマシテハ現今御承知ノ通り、二月前ト今日ト比べマシテ、對米爲替ガ十弗モ下ッテ居ル場合デアリマス、非常ニ變化ヲ見ル問題デアリマスノデ、之ニ付テ將來ノ對策如何ト云フヤウナコトニ付テ御質問モアリマシタガ、大藏大臣ハ此問題ハ先づ對外的ニ見ルノモ宜カラウ、又對內的ニ見ネバナラヌノデアル、佛蘭西ノヤツタヤウナコトノ儘トニ付テ御質問モアリマシタガ、大藏大臣ハ此問題ハ先づ對外的ニ見ルノモ宜カラウ、又對內的ニ見ネバナラヌノデアル、對外的ニ見レバ成程二月前カラ十弗モ下ッテ居ルガ、其割合ニ對內的ニ考へテ見テ、物價ノ變動ト云フモノハ非常ニ少イモノデアル、故ニ對外ノ方ノ事柄ノミヲ以テ、對内ノコトヲ律スル譯ニハ參ラヌ、從テ今日物價ノ低下モ左程ヒドクナイノデニハ、何レモ時ヲ藉スニアラザレバ根本的に問題ニ對シマシテハ、常ニ申サレマスノノ立案ハ出來ナイ、時ヲ藉スニアラザレバト申サレテ居ルノデアリマス、但シ其時ヘ何時來ルノデアリマスカ分リマセヌガ、若シ左様ナ時ガ來ナケレバ又其時ニ何トカ考ヘネバナラヌト云フヤウニ伺タノデゴザス、次ニ外務方面フコトニ移リマス、其棉花モ高ク買ハネバナラヌ、一方高ク買フ上ニ

ニ陷ルナドト云フコトハ、自分ハ考ヘテ居ラヌト云フ御話デゴザイマシタ、尙ほ低金字公債ハ出ル、是ハ到底避クベカラザルモノデアルト云フコトヲ申サレタノデアリマスガ、此度ニ於キマシテモ矢張リ八年度ノ豫算ニ對シテハ赤字公債ハ若干アルデアラウ、是ハ免ルベカラザルコトデアルト云フコトデゴザイマシタガ、其他別ニ、特ニ申上ゲルヤウナコトハ伺ヒマセヌデシタ、爲替問題ニ付キマシテハ現今御承知ノ通り、二月前ト今日ト比べマシテ、對米爲替ガ十弗モ下ッテ居ル場合デアリマス、非常ニ變化ヲ見ル問題デアリマスノデ、之ニ付テ將來ノ對策如何ト云フヤウナコトニ付テ御質問モアリマシタガ、大藏大臣ハ此問題ハ先づ對外的ニ見ルノモ宜カラウ、又對內的ニ見ネバナラヌノデアル、對外的ニ見レバ成程二月前カラ十弗モ下ッテ居ルガ、其割合ニ對內的ニ考へテ見テ、物價ノ變動ト云フモノハ非常ニ少イモノデアル、故ニ對外ノ方ノ事柄ノミヲ以テ、對内ノコトヲ律スル譯ニハ參ラヌ、從テ今日物價ノ低下モ左程ヒドクナイノデニハ、何レモ時ヲ藉スニアラザレバ根本的に問題ニ對シマシテハ、常ニ申サレマスノノ立案ハ出來ナイ、時ヲ藉スニアラザレバト申サレテ居ルノデアリマス、但シ其時ヘ何時來ルノデアリマスカ分リマセヌガ、若シ左様ナ時ガ來ナケレバ又其時ニ何トカ考ヘネバナラヌト云フヤウニ伺タノデゴザス、次ニ外務方面フコトニ移リマス、其棉花モ高ク買ハネバナラヌ、一方高ク買フ上ニ

稅力高クナッタ、是デハ彼我ノ貿易上ニ影響ガアリマスノデ、之ニ付テハ外務當局ハ極力外交手段ニ依テ談判、交渉サレ、又交渉中デアルト云フコトヲ聽キマシタ、次ニ内務ノ方面ニ移リマス、内務ノ方面ニ於キマシテハ今般ノ地方ニ於キマスル土木費、是ガ相當巨額ニ上ボッテ居リマスルノデ、之ニ付テ御質問ガアタノデアリマス、内務省ニ地方長官其他地方官憲ガ招集サレマシテ、色ミ大臣ノ訓令、訓辭ヲ承ハッテ、ソレニ皆平伏シテ歸ルヤウデアリマスルガ、事實ハ之ニ反シマシテ、是マデ地方ニ歸ラレマスト矢張リ色ミノ關係、或ハ有力ナ人物等ノ動キニ依テ、本省ノ命令通り行ハレスコトガ多々アルノデアリマス、ソレニ付テ皆御心配ニナッテ居ルノデアリマスガ、現大臣ハ其事モ憂慮セラレマシテ、左様ナコトノナイヤウニ、十分本省ノ意思ガ徹底セラレテ、全ク其土地ノ救濟ニナルヤウニ心掛ケヤウ、他カラ一時ニ來ル所ノ勞働者或ハ風來ノ稼ギ人ト云フヤウナ者ニ均霑スルコトハ努メテ避ケテ、土地ノ者ヲ霑ハセルヤウナコトニ依テ、救濟ノ一端ヲ施行シヤウト云フ御考ノヤウニ承ハタノデアリマス、次ハ文部省方面ニ移リマス、相當質問ガゴザイマシタガ、是モ簡單ニ申上ゲテ置キマス、

第一へ思想及風教問題ニ關スル質問デアリマス、之ニ付テハ當局者ノ指導啓發ノ方法等ニ付キマシテ御質問ガアリマシタガ、當局者ハ教育勅語ノ精神ヲ能ク説明ヲ致シテ、ソレニ依テ色ミ人ニ依テ手段方法ヲ變ヘテ、善導スルコトニ努メテ居ル、大體ノ御話ハ左様デゴザイマス、ソレカラ次ハ義務教育費國庫負擔ノ増加、是ハ先年モゴザイマシタガ現今モ又殖エルノデゴサイマス、是デ以テ貧弱村ノ教員ノ俸給其他ヲ支辨スルコトニナッテ居ルノデアリマスルガ、中ミソレガサウ參リマセヌ、増額サレテモ教員ノ俸給不拂ガ隨分アルノデゴザイマス、而モソレガドウ云フモノカ免角他ノ方面ニ悪用セラレルト云フノデ、此教育費ノ補助ハ何等效果ノナイコトガ隨分アルノデアリマス、斯様ナ勢ヒデ行ク以上ニハ、殆ド義務教育費ノ補助ハ農村救濟同様ニナリ、教育ト云フ名ヲ以テモ其實ハ稅ノ未納或ハ不納等ノ方面ニ之ガ向ケラレルヤウニナッテ、完全ナ目的ヲ達シテ居ラヌト云フヤウナ狀態ガアリマスノデ、之ニ付テ當局者ニ充分ノ注意ヲ與ヘラレタノデアリマス、實際斯様ナ風デハ甚ダ困ルカラ將來流用ノナイヤウニ、殊ニ時局ノ際デアルカラ

了承サレタノデアリマス、尙ホ大學卒業生ノ未就職ノコトデアリマス、大學ノ教育ヲ受ケマス者ハ、官ニ於キマシテ、又個人、父兄ノ上ニ於キマシテ、各約千圓位ハ使テ居リマスカラ先ヅ二千圓程カ、ル、而シテ卒業シタ者ガ先ヅ荒イ數字デアリマスガ、七割ガ未就職デアリ、三割ガ就職スルチ卒業シタ者ガ先ヅ荒イ數字デアリマス、是モナカノ長クカ、リマシテ居リマス、是モナカノ長クカ、リマシテ居リマスカ、是モナラヌデハナイカ、寧ロ状態デアル、斯様ナ風ニナッテ居ル、折角金ヲカケテモ何ニモナラヌデハナイカ、寧ロ学校ノ整理等ガ必要デヤナイカト云フヤウノ御議論ガ出タノデアリマス、ソレニ付テハ大學等ノ整理ノコトハ御話ガアリマセヌガ、學校ノ整理ニ付テハ考慮スル、又考慮シテ居ルト云フコトデアリマシタ、ソレカラ女子教育……女子教育ニ付テハ餘リ今迄改革等ガナイ、男子ノ教育ニ付テハ相當之ガ考慮サレテ色ミ改革サレテ居ルケレドモ、シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、今日高等女子ノ教育方面ニ付テハ殆ド何モシテ居ナガ考慮サレテ色ミ改革サレテ居ルケレドモ、ノ調節ヲ時局ニ對シテ十分ニ考究シナインナルモノデアルガ故ニ、政府ハ率勢米價ナドト云フコトヲ固執シテ此點ニ付テ、米價格ノ引上ハ必要デアル、是ガ農民救濟ノ一及シダノデアルラカシテ、須ラク農產物價ニ移リマス、是モナカノ長クカ、リマシテ居リマスカ、是モナラヌデハナイカ、寧ロ學校ノ改正ニ付テ現今立案サレテアル、ソレデマア此方デ女子教育ノ方ノ改善モ出來学校ノ改正ニ付テ現今立案サレテアル、ソレデマア此方デ女子教育ノ方ノ改善モ出來ヤウト云フ御話デゴザイマシタ、ソレカラ不就學者ノ調ベガ甚ダ不完全デアル、獨逸邊リデハ一万人ニ付シテ幾ラト云フノガ、日本デハ百人ニ付テ幾ラト云フノガ、勿論此百人

ニ對スル九十九位デアリマスガ、此率ハ是ハ全體ノ數字ノ觀察ニアラズシテ、代表數ノ觀察ノ結果デアルカラシテ、是ハ將來十分ニ全體ニ付テノコトヲ見テ貰ヒタイ、又聲譽教育ニ付テモ是ガ餘リ普及シテ居ラヌ分ニ全體ニ付テモ考慮ヲ廻ラサレタイト云フコトデ、當局者ハ其進言ヲ諒トセラレタノデアリマス、次ニ農林商工方面ニ移リマス、是モナカノ長クカ、リマシテ居リマスカ、是モナラヌデハナイカ、寧ロ學校ノ整理ニ付テハ考慮スル、又考慮シテ居ルト云フコトヲ固執シテ此點ニ付テ、米價格ノ引上ハ必要デアル、是ガ農民救濟ノ一及シダノデアルラカシテ、須ラク農產物價ニ移リマス、是モナカノ長クカ、リマシテ居リマスカ、是モナラヌデハナイカ、寧ロ學校ノ改正ニ付テ現今立案サレテアル、ソレデマア此方デ女子教育ノ方ノ改善モ出來学校ノ改正ニ付テ現今立案サレテアル、ソレデマア此方デ女子教育ノ方ノ改善モ出來ヤウト云フ御話デゴザイマシタ、ソレカラ不就學者ノ調ベガ甚ダ不完全デアル、獨逸デアリマス、此兩方ノ指數ヲ能ク調べテ、之ヲ兩方ニ調節シテアルノデアルカラ、今

コトハ必要デアルカラシテ、先ヅ之ニ依テ
米價ノ調節ヲ行フト云フコトデアリマシ
タ、何レ精シイコトハ他ノ委員會ニ於テモ
アリマスカラ、是ダケデ止メテ置キマス、漁村ノ
救濟ニ付キマシテハ、今回豫算ニモ計上サレ
テ居リマスルガ、機船底曳網、此漁業ノ取締ノ
勵行ノ支出ガ若干出テ居リマス、是ハ僅カデア
リマスルガ、是デモ漁民ノ餘程救濟ニナル
サウデアリマス、而モ此外ニハ尙ホ漁業權
ノ擴張ヲ助長シ、或ハ新設スルト云フコト
モ必要デアルガ、ソレニ付テハ漁業法ヲ改
正セナケレバナラヌノダカラシテ、之ニ付
テノ改正ヲシテ貰ヒタイト云フコトデアリ
マシタガ、別ニハキリハ承ヘリマセヌガ、
是モ相當考慮スルト云フ意味ニ承ヘリマシ
タ、尙ホ細イコトデハ種油業者ノ苦痛ノ狀
態ヲ長ミト述べラレマシテ、此救濟ニ付テ
陳情的ナ説ガアリマシタガ、之ニ付テハ大
藏方面、農林方面、其他ノ關係官廳ト相談ヲ
シテ見テ何トカシヤウト云フ御返事デアリ
マシタ、中小商工業者ノ救濟ノコトデアリ
マスガ、是モ今般豫算ニ現ハレテ居リマス
ルガ、是ハ國家ノ補償ニ非ズシテ地方處理
ニナフテ居ル、何故ニ地方ニ處理サスノデア
ルカ、國家ノ處理ニセヌカト云フコトニ付
キマシテハ、當局者ハ國家ノ補償ノコトモ

考ヘテハ見タガ先ヅ差當リ地方ノ方ニ委ス
ト云フコトデアリマシタ、ソレカラ商業組
合法ノ運用ニ付キマシテハ、若干ノ豫算ガア
リマスガ少イヤウデアルト云フ御質問ニ對
シマシテ、是ハ輕少デハアルガ、先ヅ當分
其位デ宜シカラウト云フコトデアリマシ
タ、尙ホ國際見本市ノコトニ付キマシテ
モ、日本デ開イタラドウデアルカト云フコ
トノ御話ニ對シマシテハ、當局者モ是ハ矢
張リ御考ノ中ニアリマシテ、具體的ニハ申
サレマセヌガ、サウ云フコトモ考ヘテ居ル
ト云フコトデアリマシタ、次ニ拓務方面ニ
移リマス、南洋群島開發ニ付テノ御質問竝
ニ南洋水產助成費ノ計上ニ付テノ御質問デ
アリマシタ、是ハ御承知ノ如クニ農林省、
外務省、是等ノ二省ノ協力ガナケレバ、單
ニ拓務省バカリデモ隨分遺憾ノコトガゴザ
イマス、又南洋方面ニ屬領ヲ有テ居リマ
ス所ノ外國ノ諒解モ要リマス、又ソレ等ノ
官憲トノ接觸モ要リマス、斯ウ云フ所ノ
人、茲ニ前申上ゲタ他ノ二省トノ協調ヲ保
テ、之ニ付テノ開發ヲ圖ルト云フ仰セデア
リマシタ、南洋水產助成費ハ不幸ニシテ今
回現ハレマセヌデシタガ、「是モ何レ近キ將
シテ貰ヒタイト云フ御希望ガ出マシタノデア
リマス、此外別ニ豫算其他ノ三件ニ對シマ
シテ、計數上ノ御質問ハ何等ゴザイマセヌ
力」
〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供
シマス、全部原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願
ヒマス
〔總員起立〕
○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メ
マス
○議長(公爵徳川家達君) 日程第五ヨリ第
十マデ、請願會議

ル質疑デアリマス、是ハ先日宮城縣下ニ於
キマシテ經濟學博士永井亨氏ガ演說サレタ
コトガアリマス、其演說ノコトニ對シマシ
テ、狂ゲテ是ニハ贊成スルガ、其實行ニ際シ
テ土地ノ在郷軍人會ガ決議シテ、甚ダ言論ヲ
進行シテ貰ヒタイ、斯様ナ意味ノ御忠言的御
希望ガゴザイマシタ、其他何等ノ發言モゴ
ザイマセヌデ、四案トモ通過イタシマシタ、
甚ダ簡單ゴザイマスルガ、私ハ是デ報告
ヲ終リマス、何卒御賛成ヲ希望イタシマス
タノデアリマス、之ニ付テハ陸軍大臣ハ全
ク事實ヲ御承知ガナイ、アリマセヌノデ是
ハ取調ノ上デ善處シヤウト云フ、ソレダケ
ノ御返事デアリマシテ、續イテ次ニ懷抱
セラレタ所ノ御意見ニ付テノ御話ヲ承ハ
リマシタ、先ヅ質問ハ大體是ニ止メマシ
タ、唯最後ニ申上ゲタイノハ首相ニ對ス
ル御希望ガアリマシタ、是ハ本會議ニ於テ
或委員ノ言ハレマシタコトデアリマスル
ガ、近來益、閣内ノ不統一ガアルヤウニ思
フ、ドウゾ是ハ大イニ譽國一致ノ實ヲ示シ
テ貰ヒタイト云フ御希望ガ出マシタノデア
リマス、此外別ニ豫算其他ノ三件ニ對シマ
シテ、計數上ノ御質問ハ何等ゴザイマセヌ
力」
〔總員起立〕
○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メ
マス
○議長(公爵徳川家達君) 日程第五ヨリ第
十マデ、請願會議

意見書案

山村住民救濟ニ關スル件

愛媛縣周桑郡千足山村長佐伯國三郎

外四名呈出

右ノ請願ハ近時山村ノ窮状甚シキニ依リ

林產物販賣擴張幹旋事業ノ國營又ハ縣

營、木材價格ノ引上、林地林木ニ對スル

低利資金ノ供給ニ依リ林業者ノ負債整

理、山林賣却ニ對スル所得稅ノ低減等請

願人等所案ノ如ク速ニ實行セラレ以テ山

村ヲ救濟セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族

院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決

致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及

送付候也

昭和七年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

貴族院議長 公爵德川 家達

意見書案

傷痍軍人待遇改善ノ件

廣島市中島新町平民教員補原仙太郎

外四十二名呈出

和歌山市南休賀町士族商狩谷彌太郎

外七名呈出

北海道紋別郡龍上村平民無職石立房

太郎外十六名呈出

右ノ請願ハ近時傷痍軍人ノ待遇改善ニ關

シ傷痍軍人特別扶助令制定セラレタリト

昭和七年 月 日

雖モ未タ一時金瘡兵重症者ヲ永續的ニ優
遇シ得サルニ依リ速ニ兵役義務者及廢兵

兵ニ對シ恩給法律ノ制定並ニ鐵道乗車等

ノ特典ヲ付與セラレタシトノ旨趣ニシテ

貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議

決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和七年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

貴族院議長 公爵德川 家達

意見書案

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

中小商工業者救濟ノ件

東京市本郷區本郷一丁目平民薬劑師

阿部恒雄外四百六十八名呈出

貴族院議長 公爵德川 家達

貴族院議長 公爵德川 家達

意見書案

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

右ノ請願ハ財界不況ノ際中小商工業者並

ニ庶業者ハ百貨店ノ重壓ヲ被リ今ヤ窮迫

ニ陥レルニ依リ政府ニ於テ低利資金ノ無擔

保貸付、各種政府關係債務ノ支拂延期及

ヒ低利借替、百貨店法ノ制定並ニ公私設

市場ノ對策、一般購買力ノ増進策ヲ講セ

ラレ之ヲ救濟セラレタシトノ旨趣ニシテ

議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和七年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

山村住民救濟ニ關スル件

岐阜縣武儀郡下牧村農高橋飼治郎外

九名呈出

右ノ請願ハ木材及ヒ織價ハ暴落シ山村住

民ノ窮状甚シク到底自力甦生モ望ミ難ク

思想上深憂ニ堪ヘサルニ依リ政府ニ於テ

負債ノ整理、通貨流通ノ圓滑、林業制度

ヲ改正シテ林木保護價格ノ調節、公課負

擔ノ輕減、山村振興補助制ノ擴張、織

價維持方法ノ制定、政府貯藏米ノ廉賣等

請願人等所案ノ如キ救濟方法ヲ講セラレ

タシドノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法

第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和七年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

貴族院議長 公爵德川 家達

意見書案

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

右ノ請願ハ私設能登鐵道ハ義ニ地方開發

ノ爲メ沿線各町村民協力シテ專ラ之力建

設經營中ナリシニ拘ラス近時財界不況ノ

爲メ經營困難ナルノミナラス關係民ノ困

第一方ナラサルニ依リ同鐵道ヲ國有ニ移

管シ以テ鐵道本來ノ機能ヲ充實シ地方ノ
福利增進啓發振興ニ資セラレタシトノ旨
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條
ニ依リ別冊及送付候也

昭和七年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願ハ請
願委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 明日ノ議事日程
ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日
ハ是ニテ散會イタシマス

午後八時四十八分散會

